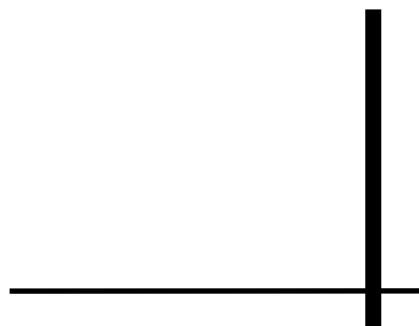


令和7年度 福島市地域学校協働本部事業
実施報告書

福島市教育委員会

令和8年3月



目 次

NO	項 目	ページ
I	学校の事業実施状況等	1
II	学校支援ボランティアの支援・活動状況、事業評価	3
III	事業の成果・課題等	4
IV	考 察	5
令和7年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価		
1	中央学習センター	6
2	三河台学習センター	12
3	渡利学習センター	14
4	杉妻学習センター	16
5	蓬萊学習センター	18
6	清水学習センター	20
7	もちずり学習センター	24
8	北信学習センター	28
9	吉井田学習センター	32
10	西学習センター	34
11	信陵学習センター	36
12	飯坂学習センター	40
13	松川学習センター	44
14	信夫学習センター	48
15	吾妻学習センター	50
16	飯野学習センター	54

I 学校の事業実施状況等

※ 学校関係者評価アンケートより（全小・中・義務教育学校・特別支援学校対象、回収率：100%）

1, 事業実施状況

○ 学校支援活動、地域学校協働活動を実施した学校数等

校種	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校
校数	40	18	1	1
%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(1) 学校のコーディネートによる学校支援活動、地域学校協働活動(学校で対応した活動)

① 実施した学校数等

校種	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校
校数	39	18	1	0
%	97.5%	100.0%	100.0%	0.0%

② 支援を受けた教科・活動、取り組んだ活動等

〈小学校・義務教育学校の教科等〉

教科等	国語	社会	算数・数学	生活	理科	音楽	図工・美術	家庭・技術	体育・保体	英語・外国語	総合
校数	6	16	5	27	1	6	3	12	8	2	31

教科等	道徳	学活	児童・生徒会	クラブ活動	学校行事	部活動	読み聞かせ	図書関係	環境整備	安全確保	地域貢献活動
校数	2	4	1	5	7	0	17	4	4	7	3

教科等	地域行事	その他
校数	1	2

その他 学生ボランティアによる児童の見守り、観察、対話、交流

〈中学校・特別支援学校の教科等〉

教科等	国語	社会	算数・数学	生活	理科	音楽	図工・美術	家庭・技術	体育・保体	英語・外国語	総合
校数	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	11

教科等	道徳	学活	児童・生徒会	クラブ活動	学校行事	部活動	読み聞かせ	図書関係	環境整備	安全確保	地域貢献活動
校数	0	1	2	0	5	1	0	0	2	5	5

教科等	地域行事	その他
校数	4	3

その他 子ども食堂の協力で、芋煮を通じて休日に部活動等で活動している生徒と地域の方のふれあい
 信陵学習センター切り絵クラブの方による、サポートルームの生徒を対象とした活動
 サポートルームの支援、朝の登校指導

(2) 地域本部(学習センター)のコーディネートによる学校支援活動、地域学校協働活動

① 実施した学校数等

校種	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校
校数	34	15	1	1
%	85.0%	83.3%	100.0%	100.0%

② 支援を受けた教科・活動、取り組んだ活動等

〈小学校・義務教育学校の教科等〉

教科等	国語	社会	算数・数学	生活	理科	音楽	図工・美術	家庭・技術	体育・保体	英語・外国語	総合
校数	2	4	4	11	0	2	3	12	1	0	11

教科等	道徳	学活	児童・生徒会	クラブ活動	学校行事	部活動	読み聞かせ	図書関係	環境整備	安全確保	地域貢献活動
校数	2	0	3	2	5	1	3	1	1	3	5

教科等	地域行事	その他
校数	3	5

その他 地区文化祭等へ作品を展示等、小・中連携・地域の方との交流
 不登校や集団生活に不安がある児童への支援、児童の見守りと対話

〈中学校・特別支援学校の教科等〉

教科等	国語	社会	算数・数学	生活	理科	音楽	図工・美術	家庭・技術	体育・保健	英語・外国語	総合
校数	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	7

教科等	道徳	学活	児童・生徒会	クラブ活動	学校行事	部活動	読み聞かせ	図書関係	環境整備	安全確保	地域貢献活動
校数	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	7

教科等	地域行事	その他
校数	6	3

その他	学習センターに生徒の美術作品を展示、地区文化祭に吹奏楽部と合唱部が参加、2年生の職場体験活動										
-----	------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2, 事業実施の成果等

(1)事業の有効性

「本事業を活用することで授業や活動の内容が充実しましたか。」

〈小学校・義務教育学校〉 (+)4~1(-)

	4	3	2	1
校数	37	4	0	0
%	90.2%	9.8%	0.0%	0.0%

〈中学校・特別支援学校〉 (+)4~1(-)

	4	3	2	1
校数	15	4	0	0
%	78.9%	21.1%	0.0%	0.0%

(2)児童生徒の変容

「地域人材の活用によって児童・生徒に学習意欲の向上が見られましたか。」

〈小学校・義務教育学校〉 (+)4~1(-)

	4	3	2	1
校数	35	6	0	0
%	85.4%	14.6%	0.0%	0.0%

〈中学校・特別支援学校〉 (+)4~1(-)

	4	3	2	1
校数	13	6	0	0
%	68.4%	31.6%	0.0%	0.0%

(3)教職員への周知

「教職員に対し本事業の趣旨、内容、方法が周知されましたか。」

〈小学校・義務教育学校〉 (+)4~1(-)

	4	3	2	1
校数	17	23	1	0
%	41.5%	56.1%	2.4%	0.0%

〈中学校・特別支援学校〉 (+)4~1(-)

	4	3	2	1
校数	8	11	0	0
%	42.1%	57.9%	0.0%	0.0%

(4)教職員の意識

「教職員に地域の教育力を活用することへの意識が高まりましたか。」

〈小学校・義務教育学校〉 (+)4~1(-)

	4	3	2	1
校数	19	22	0	0
%	46.3%	53.7%	0.0%	0.0%

〈中学校・特別支援学校〉 (+)4~1(-)

	4	3	2	1
校数	8	11	0	0
%	42.1%	57.9%	0.0%	0.0%

(5)負担軽減

「本事業の活用によって教職員の負担軽減が図られましたか。」

〈小学校・義務教育学校〉 (+)4~1(-)

	4	3	2	1
校数	28	12	1	0
%	68.3%	29.3%	2.4%	0.0%

〈中学校・特別支援学校〉 (+)4~1(-)

	4	3	2	1
校数	5	9	5	0
%	26.3%	47.4%	26.3%	0.0%

(6)支援内容

「支援の内容は学校が希望したものに合っていましたか。」

〈小学校・義務教育学校〉 (+)4~1(-)

	4	3	2	1
校数	31	10	0	0
%	75.6%	24.4%	0.0%	0.0%

〈中学校・特別支援学校〉 (+)4~1(-)

	4	3	2	1
校数	10	9	0	0
%	52.6%	47.4%	0.0%	0.0%

(7)地域との連携

「学校教育活動や地域行事について地域との連携、信頼関係が築かれていましたか。」

〈小学校・義務教育学校〉 (+)4~1(-)

〈中学校・特別支援学校〉 (+)4~1(-)

	4	3	2	1
校数	27	13	1	0
%	65.9%	31.7%	2.4%	0.0%

	4	3	2	1
校数	11	7	1	0
%	57.9%	36.8%	5.3%	0.0%

II 学校支援ボランティアの支援・活動状況、事業評価

※ 学校支援ボランティアアンケートより(70名抽出、回収率:84.2%)

性別	男性	女性
人数	15	45
%	25.0%	75.0%

年代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
人数	0	1	3	16	28	12
%	0.0%	1.6%	5.0%	26.7%	46.7%	20.0%

1, 支援を行った教科、学習活動等

教科等	国語	社会	算数・数学	生活	理科	音楽	図工・美術	家庭・技術	体育・保体	英語・外国語	総合
校数	1	4	1	4	0	1	0	26	1	0	8

教科等	道徳	学活	児童・生徒会	クラブ活動	学校行事	部活動	読み聞かせ	図書関係	環境整備	安全確保	地域貢献活動
校数	1	0	2	0	13	0	2	0	2	5	1

教科等	地域行事	その他
校数	7	19

その他	小学校と学習センター共催での「だんごさし」、昔遊び・昔の生活道具説明、ニュースポーツ、切り絵、つるし雛作り、野菜の栽培についての指導・支援、保護者会の際に保護者の方と一緒に帰るお子さんたちの世話(読み聞かせ等)、特別支援学級での学習ボランティア、フラダンス体験指導、小学校で4月の登校時に昇降口で新入生のお迎えと手伝い、裏千家茶道体験、三世代交流活動、ごみ拾い活動の引率、西こどもクラブ、吾妻学習センター「スノーラビット」
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2, 事業評価

(1)充実感

「学校支援ボランティアの活動にあなたの知識・経験が生かされましたか。」

	はい	概ね	あまり	まったく
人数	36	21	1	1
%	61.0%	35.6%	1.7%	1.7%

(2)自己有用感

「学校支援ボランティアの活動内容は子どもたちのためになっていると感じましたか。」

	はい	概ね	あまり	まったく
人数	41	19	0	0
%	68.3%	31.7%	0.0%	0.0%

(3)学校に対するイメージ

「学校支援ボランティアの活動を通し児童生徒とふれあい、学校に対しての親しみを感しましたか。」

	はい	概ね	あまり	まったく
人数	50	8	2	0
%	83.4%	13.3%	3.3%	0.0%

(4)学校教育への理解

「学校支援ボランティアの活動を通し、授業内容や子どもたちの学ぶ様子などがわかりましたか。」

	はい	概ね	あまり	まったく
人数	40	15	5	0
%	66.7%	25.0%	8.3%	0.0%

(5)地域の教育力

「地域の方々はいろいろな場面で子どもたちに対して積極的に関わっていると思われませんか。」

	はい	概ね	あまり	まったく
人数	23	26	6	1
%	41.1%	46.4%	10.7%	1.8%

(6)ボランティアに対する意欲

「これからも学校支援ボランティアの活動を続けたいですか。」

	はい	概ね	あまり	まったく
人数	48	11	1	0
%	80.0%	18.3%	1.7%	0.0%

(7) 運営方法

「事前の打ち合わせ等は、行われましたか。」

	はい	概ね	あまり	まったく
人数	32	16	10	1
%	54.2%	27.1%	17.0%	1.7%

3, 活動の感想や今後に向けての意見等

○ 事前の連絡(授業の内容など)をいただいていたので活動のイメージがしやすく良かったです。先生のご苦労も垣間見る事ができ、理解が深まりました。

○ わが子が小学校に行っている間PTA活動や育成部の活動で学校や子どもたちと関わる事はありましたが、教室で直接授業に関わる事は初めての事だったのでとても心配でした。しかし、やってみると元気で素敵な子どもたちが心配をふきとばしてくれました。私の経験した事を伝え、説明に沿って作品が仕上がっていきました。自分も少しは役にたったかなという喜びと、今の小学生(孫は違う)に関われたという貴重な体験でした。

○ 初めてボランティア活動に参加しました。子どもたちの会話だったり、作品作りに対しての取り組みなど子どもたちの様子が分かりとても楽しい時間でした。子どもから声をかけられて、「きれいに出来たので嬉しかったです。」と言われた時、こちらの方が良かったと思いました。

○ 家庭科については2つの学校で活動しました。各学校の生徒たちの礼儀や雰囲気の違いが感じられて、それぞれに対応し、楽しく支援できました。また、サポートルームについては3年目となり、1年生から関わっている子どもが3年生になって、少しずつ自立し落ち着きが見られ成長を感じています。子どもから「サポートルームがあって良かった」と学校への通学の楽しみと必要性を感じてくれる感想がありました。

○ 学校支援ボランティア活動で学校や子どもたちの様子を知ることが出来るので、これからも継続したいと思います。

○ 学校支援ボランティアは、地域が学校とのつながりや理解を深めると共に子どもたちが地域とふれあい、理解をする上で有効的な機会と感じています。子どもたちの興味も配慮して企画する学習センターにも敬意を表します。

Ⅲ 事業の成果・課題等

※ 事業期末面談報告より

○ 地域人材の活用を進めるために、学校のニーズに応じた人材を紹介していただけることはありがたい。地域人材が有効に活用され、生徒の学習の充実が図られている。ボランティアを活用した授業では、生徒の関心も高く、充実した学習を行うことができた。

○ 先生方が事業について理解しており、全学年で学習ボランティアの支援を受けた。また、学校から直接依頼し、外部講師や地域の方々にたくさんの協力をいただいている。あいさつ運動、地区文化祭、育成会への協力等を通して、地域の方との交流の大切さ・必要性が教職員にも広まってきている。

○ 学校支援ボランティアから、児童にとって役立つ存在であることへの有用感とともに、「児童とふれ合うことで活力をもらえた」というお話をいただいた。児童・教職員ともに、地域人材から多くのことを学ぶことができた。

○ ボランティア活動反省会を開催している。ボランティアの方々の満足度・充実感、自己有用感も感じられた。

○ 本事業を地域の学校として、子どもの元気な姿を地域に発信する活動のひとつとして重視している。ボランティアの方は地域の方に活動したことを話したり、地区文化祭で活動の写真を展示したりしている。多くの人に、支援学校のこと、児童・生徒のことを知ってもらうきっかけとなっている。

○ 地域の方々と共に体験することに意義があると考えている。児童にとって地域の方々と体験は非常に有用であるし、学年が大きくなるにつれて、同じ体験でも観る視点も変化してくる。

○ 吹奏楽部、美術部、家庭部が地域のボランティアとして活動できた。地区文化祭では、文芸部の司会や音楽部の演奏、スタンプラリーのスタンプ作りなど中学生に活躍の場を与えていただいた。

○ 児童作品を学習センターに展示するなど、連携・交流の輪を広げることができた。

○ 合奏部が地区文化祭に参加し演奏を披露し、児童のよい経験となった。

○ 今年度は出身小学校へ出向いてのあいさつ運動を4回に増やして行うことができた。

○ 米作りや書きぞめ教室、など、地域の人材を有効に活用することができた。

- 入学式の翌日から入っていただいた小学校1年生への支援ボランティアは大変助かった。担任は教室での児童対応に専念することができた。
- 1～9学年の幅広いニーズに地域人材を繋いでいただき、多くの方に支援をいただいた。特に、地域との関りから学ぶ総合的な学習の時間「まつかわ学」において、多くの人材を活用できたことで、教育効果が高まったと感じている。
- 学習センターで募集した夏休みの学習ボランティアに生徒が参加したり、地区文化祭に、美術部(作品)と合唱部が参加したりと、積極的に地域に関わることができた。
- 児童が学習センターへ出向き、地域の方に歌やダンスを披露する活動を行うなど、充実した取り組みが行われた。
- 今後も地域の文化祭への参加・協力や施設訪問等で、生徒が地域に貢献する活動において連携していきたい。
- 今年度は日程の関係で地区文化祭などの手伝いは叶わなかったが、子どもたちが楽しみにしていたので、今後も地域貢献活動として生徒の活用をお願いしたい。
- 学習センターの担当者と本校の担当教員との連携が図られていたと感じる。学習センターの担当者が、適時学校と関わりをもって、学校の要望に迅速に対応していただいたことで、効果的に教育活動を進めることができた。
- 学習センターには、学校の困り感を気軽に相談することができ、助けてもらっている。
- 学校・地域の実態を踏まえた、学校への支援体制が地域支援者の協力のもと出来上がっており、たいへん助かっている。見守り隊、防災ボランティア等、地域の方々の協力を得ている。
- 野田地区は、ふるさとへの思い、学校への思いが大変高く、地域を学ぶ学習を行う際には、とても人材豊かである。この方々の思いを聞く機会をとおして、子どもたちが野田地区への誇り、愛着を抱くことに結び付いていると感じる。

IV 考 察

- 全ての小・中・義務教育・特別支援学校で、学校のコーディネート(対応)、または地域本部(学習センター)のコーディネートによる地域学校協働活動が実施され、活動実績報告件数も昨年度の571件から、今年度は616件に増加した。(＋45件)
本事業の定着が図られ、学校支援ボランティアによる支援内容、地域活動への参加の広がりが見られており、学校の求めや地域の特性、地域人材に応じた学校支援活動・地域学校協働活動が推進されていると考えられる。
- 学校アンケートから、この事業が各学校での授業や学習活動の充実に結び付いていることが確認できる。特に、児童・生徒による地区文化祭等への参加、協力や地区でのあいさつ運動への取り組みなど、地域との連携を図った事例が報告されていること、また児童・生徒の作品等を各学習センターへ計画的に展示し、地区の方々へ子どもたちの様子を理解してもらい取り組みが報告されている事が今年度の特徴である。
- 学校支援ボランティアのアンケートから、ボランティア活動に対し大変意欲的であること、活動をとおして学校や子どもたちを理解出来たこと、ボランティアへの意欲が高まっていることが言える。学校支援ボランティア活用のねらい(学校の求め)を明確にし、それを事前の打ち合わせ等でボランティアに伝えることで、より充実した学習活動が展開されるようになるとともに、ボランティアの自己有用感を高めることにも結び付くものと考えられる。
また、各学校での対応と共に地域本部(学習センター)としてもコーディネートやサポートをきめ細かに行うこと、「学校支援ボランティア説明会・研修会」の開催、活動状況の視察や情報交換等により、効果的な学校支援活動、地域学校協働活動につなげていきたい。

令和7年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.1	中央学習センター
対象校	福島第一小学校・福島第二小学校・福島第三小学校・福島第四小学校・福島第二中学校・福島第四中学校

1 学校でコーディネート(対応)し、実施した学校支援活動・地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	福島第一小学校	5月20日 ～2月17日 (月1回1学年)	1年 国語科 16名 14:00～14:45 2年 国語科 12名 14:00～14:45 3年 国語科 15名 14:00～14:45 きびたきお話の会による読み聞かせをしてもらう。	3	27	児童の発達段階に応じて、絵本などの読み聞かせをしていただいた。
2	福島第一小学校	5月29日 7月1日	3年 総合的な学習の時間 11名 10:30～11:15 小鳥の森レンジャーの方にビオトープやビオトープでの活動について話をいただき、学校ビオトープで一緒に実践活動に取り組む。	1	1	専門的な立場の方からの話を聞くことで、これまでの活動を振り返り、新たな探究意欲を高めるきっかけとなった。
3	福島第一小学校	6月11日 9月25日 11月13日	6年 総合的な学習の時間 15名 6月11日:帝国データバンク、9月25日:英会話教室、11月13日:日本金融教育支援機構、それぞれの担当者に来校いただき、仕事の魅力についての話を聞く。	5	5	様々な分野で働いている方から仕事や取り組んでいることについて話を聞き、働くことの魅力について考えることができた。
4	福島第一小学校	6月23日 7月8日 8月26日 11月27日	6年 社会科 15名 6月23日:市広報広聴課、7月8日:市議会議員、8月26日:囲碁連盟、11月27日:茶道協会の方々に来校いただき、学習内容について専門的な話を聞いたり体験をしたりした。	9	9	学習内容について実際に体験したり具体的な話を聞いたりすることで、公民や歴史をみ時間に感じるができ、社会科への興味や関心が高まった。
5	福島第一小学校	11月10日	5・6年 音楽科 5年22名10:30～11:15 6年15名11:25～12:10 箏の演奏を聴いたり箏の歴史の話を聞いたりした後で実際に演奏する体験をする。	1	1	演奏を聴いたり箏について知ったりするだけでなく、2人で1台の箏を使って演奏体験を十分にすることができた。
6	福島第二小学校	4月8日	1～6学年・12学級。子どもの安全確保協議及び、第二地区青少年健全育成推進会の皆さんに交通教室においていただき、危険箇所についての講話や通学路の歩き方について確認した。	5	5	通学路における危険箇所の把握や交差点での横断の仕方、歩道の歩き方を具体的に教えていただき、児童の安全への意識が高まった。
7	福島第二小学校	7月～3月	学校図書ボランティアの皆さんによる学校図書環境の整備。	11	35	季節にあった掲示物の作成や掲示、図書の展示、配架作業を行っていただき、児童にとって親しみやすい図書館経営をすることができた。
8	福島第二小学校	7月～3月	1～3学年・3学級。学校図書ボランティアの皆さんによる月2回程度の読み聞かせ。	8	42	短い話を中心に読み聞かせを行っていただき、たくさんの方に親しむことができた。
9	福島第二小学校	7月2日	1,2学年・2学級。第二地区青少年健全育成推進会の皆さんと保護者ボランティアの皆さんに来ていただき、児童と一緒に花苗の定植活動を行った。	6	6	児童と一緒に花苗を植えていただいた。その後、花苗を植えたプランターを学区の公共施設に届け、地域の環境美化を推進することができた。
10	福島第二小学校	9月16日 9月19日	1,3学年・2学級。市立図書館読み聞かせボランティアの皆さんに来ていただき、読み聞かせをしていただいた。	6	6	国語の教科書で扱われている教材の読み聞かせをしていただいた。

11	福島第二小学校	6月25日 11月13日	1、2学年・2学級。学級の保護者の皆さんによる学区の公園見学、町たんけん時の安全見守り活動をしていただいた。	18	18	児童と一緒に行動していただき、安全面での目配り気配りをしていただき、交差点の横断や公園遊び等で安全に活動できた。
12	福島第三小学校	6月～7月	第1学年 2学級 JAふくしま未来の方に花の育て方を教えていただいた。	3	4	栽培の途中で出てくる困り感に対処していただき助かった。
13	福島第三小学校	7月14日 11月25日	第3学年 2学級 福島大学平中宏典先生と、ゼミの学生さんに協力いただき、シャボン玉作りの活動に取り組んだ。	4	7	子どもたちの活動(シャボン玉作り)の具体的なアドバイスをいただけた。
14	福島第三小学校	6月～3月	第4学年 1学級 五十辺太鼓保存会の皆さんから、五十辺集会所や学校において太鼓の指導をいただいた。	3	13	五十辺太鼓保存会の方の思いに触れ、その後の探究意欲が高まった。
15	福島第三小学校	7月2日 11月19日	第4学年 1学級 福島県障がい者スポーツ協会の増子恵美さんとポッチャ愛好会の根本広美さんに来ていただき、ポッチャについて教えていただいた。	2	4	ポッチャのコツやパラスポーツへの思いについて教えていただくことができた。
16	福島第三小学校	5月～10月	第5学年 2学級 曳地清明さん(柚子農家)に来ていただいたり、畑に伺い、作業をさせていただいたりした。	23	43	柚子農家の曳地さんに繰り返し関わっていただき学習を深めることができた。また、地域の方々に収穫作業を協力していただき、安全に活動することができた。
17	福島第三小学校	10月9日 ～ 2月3日	第6学年 2学級 南福島の惣菜店「かぼちゃのたね」経営者、阿曾征治さんに、減塩献立についての助言をいただき、商品化に協力いただいた。	1	10	減塩への思いやメニューへの感想をいただき、子どもたちのあこがれであり、超えるべき壁として存在していただき、子どもたちが本気になった。
18	福島第三小学校	7月14日 ～ 2月3日	第6学年 2学級 健康づくり推進課の方に、適しおレシピの採用や、減塩の必要性についての講話でお世話になった。	2	2	減塩の必要性を話していただいたことで、ねらいが明確になった。レシピ化されたことで達成感を感じられた。
19	福島第三小学校	5月9日 6月19日 10月22日	特別支援学級 3学級 JAふくしま未来の方に来ていただき、野菜の育て方や豆腐作りについて指導していただいた。	2	6	本やネット情報だけではわからないことを、実際にタイムリーに教えていただき、子どもたちの興味関心が高まった。
20	福島第四小学校	5月28・30日 6月3・5日 6月9・11日	全学年・6学級・書写「たなばた展」作品出品のための書写指導(丹治英郎様)	1	6	一人ひとり個別に指導いただき、技能の習得と意欲の向上、また、教職員の指導力の向上を図ることができた。
21	福島第四小学校	6月4日	第1・2学年・2学級・学級活動「ほうしゃせんからみをまもろう」 環境創造プラザ出前授業	2	2	低学年の実態に合った視覚教材を通して、放射線についての理解を深めることができた。
22	福島第四小学校	6月5日	第3学年・1学級・音楽科「リコーダーに親しもう」 リコーダー奏者によるリコーダー演奏の仕方についての説明	1	1	音の出し方を楽しく学びながら、演奏技能の向上意欲を高めることができた。
23	福島第四小学校	6月6日 6月18日 7月16日	第1・2・4・6学年・4学級・学級活動「むし歯予防教室」 きらり生協による「歯の大切さ」についての指導	1	4	歯の大切さを自分事として考えることができた。
24	福島第四小学校	6月11日	第2学年・1学級・生活科「どきどきわくわく町たんけん」 学区にある商店にて働く人々との交流	3	6	地域にある場所を見学し、働く人や仕事についての理解を深めることができた。

25	福島第四小学校	6月20日	第5学年・1学級・学級活動「バランスのよい食事について考えよう」栄養教諭による食育指導	1	1	食の大切さを自分事として考えることができた。
26	福島第四小学校	6月23日	第6学年・1学級・社会科「租税教室」税金についての説明	1	1	税金についての詳しい説明を聞いた り、DVDを視聴したりすることで、 税についての理解を深めることが できた。
27	福島第四小学校	7月10日	第3学年・1学級・社会科「農家の仕事」 果樹農家の見学	1	1	実際にリンゴを栽培している農家を 訪ねることにより、その工夫や努力、 想いや願いを知ることができた。
28	福島第四小学校	9月3日	第1学年・1学級・音楽科「どれみとなかよ くならう」 鍵盤ハーモニカ講習会	1	1	鍵盤ハーモニカの音の出し方を楽し く学びながら、演奏したいという意 欲を高めることができた。
29	福島第四小学校	9月5日	あおば学級・1学級・学級活動「バランスよ く食べよう」 栄養教諭による食育指導	1	1	食の大切さを自分事として考えるこ うができた。
30	福島第四小学校	9月9日	あおば学級・1学級・総合的な学習の時間 「やるぞ、梅校観察隊」 福島高校にて、福高と四小とのつながり についての説明	3	3	福島高校と四小の校章のモチーフと して使われている梅の花についての 理解を深めることができた。
31	福島第四小学校	9月11日	第5学年・1学級・総合的な学習の時間「つ くります！あなたの安全守り隊」 防災出前授業	2	2	具体的な説明を聞きながら、身近な 防災について理解を深めることが できた。
32	福島第四小学校	9月25日	第2学年・あおば学級・2学級・生活科 「もつとなかよし町たんけん」 郵便局で働く人々との交流	2	2	郵便局で働く人たちの思いや願いに ついての理解を深めることが できた。
33	福島第四小学校	10月21日	第2学年・1学級・学級活動「バランスよく 食べよう」 栄養教諭による食育指導	1	1	食の大切さを自分事として考えるこ うができた。
34	福島第四小学校	10月30日	第3学年・1学級・社会「店ではたらく人」 スーパーマーケット見学	1	1	スーパーマーケットで働く人たちの 工夫や努力、思いや願いを知ること ができた。
35	福島第四小学校	10月30日	1～4学年・4学級・体育科「ボールゲーム」 サッカー教室(福島ユナイテッドFC)	5	5	サッカーの基本となる運動技能の反 復練習に取り組み、ゲームの楽しさ を味わうことができた。
36	福島第四小学校	11月7日	第2学年・1学級・生活科「もつとなかよし 町たんけん」 テレビ局で働く人々との交流	1	1	テレビ局で働く人たちの思いや願い についての理解を深めることが できた。
37	福島第四小学校	11月14日	第6学年・1学級・家庭科「一食分の献立を 考えよう」 栄養教諭による食育指導	1	1	栄養のバランスを考えながら、一食 分の献立を作成することができた。
38	福島第四小学校	11月21日	全学年・6学級・学級活動「メディアとの関 わり方」 出前講座	1	1	メディアとの関わりについて理解を 深めることができた。

39	福島第四小学校	11月25日	第4・5・6学年・3学級・創作クラブ リンバイによる出前講座	5	5	木製の鉛筆立てにカラフルな装飾を 施すことができた。
40	福島第四小学校	12月5日	第3・4学年・2学級・学級活動「おやつのと り方を工夫しよう」 栄養教諭による食育指導	1	2	食の大切さを自分事として考えるこ とができた。
41	福島第四小学校	12月5日	全学年・6学級・体育科「身体表現」 文化芸術鑑賞・体験推進事業(田村圭様)	2	2	音楽に自分の気持ちを乗せて、自由 に身体表現をする楽しさを味わうこ とができた。
42	福島第四小学校	12月9日 12月11日 12月18日	全学年・6学級・書写「書きぞめ展」作品出 品のための書写指導(丹治英郎様)	1	3	一人ひとり個別に指導いただき、技 能の習得と意欲の向上、また、教職 員の指導力の向上を図ることができ た。
43	福島第四小学校	12月12日	第5学年・1学級・総合的な学習の時間「つ くります！あなたの安全守り隊」 ユネスコ出前授業	3	3	具体的な説明を聞きながら、自分た ちに来るボランティアについて考 えを深めることができた。
44	福島第四小学校	1月9日	第1学年・1学級・学級活動「好き嫌いしな いでなんでも食べよう」 栄養教諭による食育指導	1	1	食の大切さを自分事として考えるこ とができた。
45	福島第四小学校	1月15日	第3学年・1学級・社会「事故や事件からく らしを守る」 福島県警察本部見学	1	1	警察で働く人たちの工夫や努力、思 いや願いを知ることができた。
46	福島第四小学校	1月16日	第5学年・1学級・社会「情報産業とわたし たちの暮らし」 FTV見学	1	1	テレビ局で働く人たちの工夫や努 力、思いや願いを知ることができた。
47	福島第四小学校	1月21日	第6学年・1学級・体育科「薬物乱用の害と 健康」 薬物乱用防止教室	1	1	薬物乱用によって心身の健康にどの ような害が及ぶのか、自分事として 考えることができた。
48	福島第四小学校	1月30日	第4学年・1学級・総合的な学習の時間「名 人ってどんな人？」信夫山名人になるまで のお話をしていただく。(浦部 博様)	1	1	浦部さんの思いや考えを聞いたり、 疑問に思ったことを質問したりする により、名人と呼ばれる人への理解 を深めることができた。
49	福島第四小学校	通年	全学年・6学級・読書タイム「本に親しもう」 PTA図書ボランティア5名・低・中・高学年 ごとに年間5回	5	75	昔話や英語の本など、様々な本に親 しむことができた。
50	福島第二中学校	6月23日～ 27日	2学年 23事業所 44名参加 職場体験学習	39	178	最大で5日間の体験活動を行った。 充実した体験ができ、勤労について 学ぶ良い機会であった。
51	福島第二中学校	9月1日	1学年 58名参加 手話出前講座	2	2	手話について学ぶとともに、難聴者 について学ぶ機会となった。
52	福島第二中学校	11月26日	1学年 生徒53名参加 放射線講座	1	1	いちかわクリニックの先生による講 座であった。放射線について基本的 な知識を得ることができた。

53	福島第二中学校	1月26日	職業人に話を聞く会	1	1	地域の職業人に学ぶという趣旨で、イラストレーターの仕事について学ぶとともに、働くために必要なことについて考えを深めることができた。
54	福島第四中学校	12月15日	小中連携朝のあいさつ運動(四小)	6	6	今年度より、校長が企画して実施した。はじまったばかりだが、この活動をもとに地域学校協働活動を活性化していきたい。
55	福島第四中学校	2月25日	小中連携朝のあいさつ運動(御山小)	6	6	計画を立てたが、年度途中からの計画であったため、他の行事と重なることが多かった。年度当初から計画的に実施する必要がある。
56	福島第四中学校	3月5日	小中連携朝のあいさつ運動(森合小)	6	0	計画を立てたが、年度途中からの計画であったため、他の行事と重なり、実施に至らなかった。年度当初から計画的に実施する必要がある。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより、実施した学校支援活動・地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	福島第一小学校	6月19日	2年 生活科 15名 10:25~11:10 野菜の苗の育て方を指導してもらう。	1	1	児童の育てている野菜ごとに合わせた内容で、育て方のポイントについて教えていただいた。
2	福島第一小学校	7月11日	2年 生活科 15名 9:25~11:10 野菜の収穫体験をする。	1	1	ジャガイモなどの実のでき方について教えていただいたり、実際に数種類の野菜の収穫を体験させていただいたりした。
3	福島第二小学校	2月5日	6学年・1学級・道徳科(生命尊重)の学習におけるゲストティーチャーによる授業を行っていただいた。	1	1	ご自身の体験をもとに命の大切さについて説いていただいた。児童は自身の命の大切さについて真剣に考えることができた。
4	福島第二小学校	2月2、6、9、10、12、13日	1~3学年・3学級。算数科の学習において、児童への個別対応等を行っていただいた。	3	7	個別対応等をしていただいたおかげで、児童は学習の理解が進む様子が見られた。
5	福島第三小学校	9月19日	2年生・2学級 算数科の習熟の時間における採点と個別指導	2	2	普段、十分時間をかけて見てあげることのできない下位児童にも、個別指導をしていただくことができ、大変よかった。
6	福島第三小学校	9月26日	2年生・2学級 算数科の習熟の時間における採点と個別指導	3	3	同上
7	福島第三小学校	10月27日	6年生・2学級 岡部経子様による道徳の特別授業	1	1	ご自身の体験を基に授業を展開され、生命についての話が心に響く学びとなった。
8	福島第三小学校	12月10日	2年生・2学級 生活科のサツマイモ調理補助	3	3	作業がスムーズに進み、時間内に終了することができた。
9	福島第三小学校	12月12日	2年生・2学級 算数科の学習支援(2学期のまとめ)	3	3	一人一人のつまずきに対応することができ、大変よかった。
10	福島第三小学校	12月18日	クラブ活動・4、5、6年生17名 ボードゲームクラブでの囲碁の指導	2	2	児童が分かりやすく楽しめるよう、ルールを簡単にさせていただいたり、掲示用のセットをお持ちいただいたため、初めての子も楽しむことができた。

11	福島第三小学校	1月9日、14日、16日、23日、28日	1年生40名、2年生54名、3年生47名、4年生55名、5年生59名、6年生53名 算数科学習支援	3	15	算数科のアシストシートを活用し、習熟を図るとともに、下位児童に対するドリル指導で、復習に取り組むことができた。
12	福島第四小学校	10月10日～11月10日	全学年・6学級「中央学習センター児童・生徒作品展」における作品提供	12	12	子どもたちの作品を展示していただき、学校理解や地域交流に協力することができた。
13	福島第四小学校	9月27日～28日	全学年・6学級「中央地区文化祭」作品出品	18	18	子どもたちの作品を展示していただき、地区の文化祭へ間接的に参加・協力することができた。
14	福島第四小学校	1月23日	第6学年・1学級・道徳科「命のかがやき(生命の尊さ)」(岡部経子様)	1	1	岡部様との交流を通して、自他の生命を大切にしようとする心情を育てることができた。
15	福島第四小学校	1月30日	第3学年・1学級・総合的な学習の時間「名人ってどんな人？」 三味線についての説明・体験(浅野良子様)	4	4	三味線演奏を聴いたり、実際に演奏したりすることで、三味線への興味関心をもつことができた。
16	福島第四小学校	3月5日	第3学年・1学級・総合的な学習の時間「名人ってどんな人？」 三味線名人になるまでの経緯・名人としての思いや考えについてお話をいただく。 (浅野良子様)	1	1	浅野さんの思いや考えを聞いたり、疑問に思ったことを質問したりすることにより、名人と呼ばれる人への理解を深める。
17	福島第二中学校	10月2日・6日	2・3学年希望者による中央学習センターで開催する中央地区文化祭の会場準備・撤去活動	86	86	地域に貢献できる貴重な機会となっている。今後も地域との関わりを大切にした取組として続けていきたい。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

	項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	3
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	4
Q3	学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4	地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	2
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	3
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○各学校(主に小学校)で授業に生涯学習指導員が入り 授業補助を行った。採点や理解困難な児童への支援であったが、大変好評であり、多くの学校から依頼が来ている。学校では支援を必要としていると思われる。

○6年道徳の命の授業を行ってもらっている。どこの小学校でも、児童の反応が素晴らしく、来年度も各学校に周知徹底を行っていきたい。

○中央地区文化祭での中学生による準備、片付け作業は大いに助かるものであり、学習センター利用団体や地域 住民に中学生の活動の様子をみてもらう良い機会であった。来年度もお願いしている。

●ボランティア登録されている方への、依頼をもっと増やせたらと思う。年度初めの周知を行いたい。

令和 7年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.2	三河台学習センター
対象校	三河台小学校、岳陽中学校

1 学校でコーディネートし、実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	三河台小学校	4月30日	5学年総合的な学習の時間(3学級・70名) 「ぼく・わたしたちの町の顔! 福島駅大好きプロジェクト」 ・JR福島駅の職員の方々による、福島駅構内の案内	5	5	JR福島駅の役割や特徴について理解を深めることができました。
2	三河台小学校	5月30日	6学年総合的な学習の時間(3学級・72名) 「最強避難所! 三河台小学校」 ・福島市役所危機管理室の職員の方からの助言	3	3	学校の敷地内にある備蓄倉庫の中を見せていただいたり、備蓄品を触ったりしながら、災害が起きたとき、避難所ではどのようなようになるのかを理解できました。
3	三河台小学校	7月7日	4年総合的な学習の時間「荒川たんけん隊」(2学級57名) ・荒川づくり協議会会長さんによる、荒川についての講話	1	1	佐々木会長から話を伺ったことで、荒川について疑問に思っていたことを解決したり、理解を深めたりすることができました。
4	三河台小学校	7月11日	5学年総合的な学習の時間(3学級・70名) 「ぼく・わたしたちの町の顔! 福島駅大好きプロジェクト」 ・JR福島駅の職員の方々による、福島駅構内の案内 ・質疑応答	5	5	子どもたちが1回目の見学の時にもった疑問について、JR福島駅職員へのインタビューを通して解決するとともに、新たな疑問をもつことができました。
5	三河台小学校	8月28日	6学年総合的な学習の時間(3学級・71名) 「最強避難所! 三河台小学校」 ・福島県立西高等学校家庭クラブとの交流	13	13	数年にわたって防災対策プロジェクトに取り組んでいる西高家庭クラブの方の実践を聞いたり、アドバイスをいただいたりしたことにより、今後の改善の方向性が決まった。
6	三河台小学校	9月12日	5学年総合的な学習の時間(3学級・70名) 「ぼく・わたしたちの町の顔! 福島駅大好きプロジェクト」 ・児童が作成したレポートに対するコメント ・JR福島駅が抱える課題や悩みについての紹介	4	4	レポートに対して、JR福島駅の職員の方々からの称賛があり、児童は達成感を感じていた。また、JR福島駅の課題や悩みを聞き、それを解決したいという思いの高まりが見られた。
7	三河台小学校	10月3日	4年総合的な学習の時間「荒川たんけん隊」(2学級57名) ・荒川桜づつみ公園近くの水質調査・水生生物採取の補助	4	4	荒川資料室の方々に、水質調査・水生生物採取の補助をしていただいたり、荒川について話を伺ったりしたことで、荒川についての興味が深まった。
8	三河台小学校	10月30日	5学年総合的な学習の時間(3学級・70名) 「ぼく・わたしたちの町の顔! 福島駅大好きプロジェクト」 ・児童が主催するJR福島駅でのイベントにおける下見と打合せの補助	8	8	現地で、職員の方々とは打合せをすることにより、イベントのイメージをもつことができました。
9	三河台小学校	12月9日	5学年総合的な学習の時間(3学級・70名) 「ぼく・わたしたちの町の顔! 福島駅大好きプロジェクト」 ・児童が主催するJR福島駅でのイベントの補助	20	20	JR福島駅の職員の方々のフォローにより、児童はイベントを通して、達成感と新たな課題をもつことができました。
10	三河台小学校	1月13日	6学年総合的な学習の時間(3学級・71名) 「最強避難所! 三河台小学校」 ・福島市役所危機管理室の職員の方の助言	3	3	これまで繰り返し改善してきた防災グッズの設計図を危機管理室の方に渡し、備蓄倉庫に入れていただいたことにより、年度当初の目標を達成することができました。

11	三河台小学校	1月28日	3学年総合的な学習の時間(2学級・50名) 「だんごさし」 ・「だんごさし」の由来の説明、体験の補助	6	6	地域の方々に教えていただきながら「だんごさし」を行い、地域の伝統行事に触れることができました。
12	三河台小学校	2月14日	6学年総合的な学習の時間(3学級・71名) 「最強避難所！三河台小学校」 ・野田町町会連絡協議会の方の助言	50	50	野田町の自主防災訓練の企画に参加し、これまでの学習で改善してきた防災グッズを説明することにより、地域の方の防災意識を高める一助をめぐした。また、自分たちの防災グッズを改善するアドバイスをいただいた。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	三河台小学校	11月10日 11月11日 12月2日 12月3日	生活科町探検 ・2学年59名 ・グループごとに三河台地区の施設・店等を調べた。その際、「交通安全母の会の皆様」に安全を見守っていただいた。	13	52	安全に探究活動を行うことができた。
2	三河台小学校	11月26日 11月27日 11月28日	家庭科 ミシンの学習 ・5学年69名 ・ミシンの操作について学ぶ学習において、操作の補助をしていただいた。	2	6	ミシンの仕組みについて理解を深めたり、操作の技能を身に付けたりできた。
3	岳陽中学校	7月17日 10月28日 12月10日	小中連携による地域の方々と一緒に朝の挨拶運動 (中1生数名が、卒業した小学校を母校訪問し、小6児童、地域の方々と一緒に朝の挨拶運動を行った)	33	33	小中学生と地域の方々が一緒に行う「朝の挨拶運動」を今年度は3回行い、小中の連携だけでなく、地域との関係や絆も深めることが出来た。今年度は特に、のぼり旗を作ったことが、参加者の意欲の高まりや地域への啓発活動にもつながった。子どもたちの地域に対する意識を高めるとともに地域の活性化にもつなげていきたい。
4	岳陽中学校	11月1日 11月2日	三河台地区文化祭における生徒作品(絵画・書道)の展示	15	15	三河台地区の文化祭で生徒の絵画や書道の作品を展示していただいた。中学校活動の一端を紹介することが出来、生徒の活動の意欲につながった。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1 学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2 事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3 学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	3
Q4 地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	3
Q5 地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	3
Q6 統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	3

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○専門性に基づいた指導を受けることができ、大変参考になった。また、地域の皆さんとの交流を通して、地域に対する所属感を高めることができた。

○支援推進員に運営審議会の委員の方々を委嘱し、支援ボランティア候補者リストを幅広く求めた。

●小学校からミシン学習の補助の要望が直前で、都合がつかない支援員が多数出た。年度当初になるべく早く依頼するようにしたい。

●中学校からの依頼が少ない。中学校との連携をさらに深め、事業を増やしていきたい。

5 活動、支援の様子



ミシンの授業支援(三河台小)



「まち探検」の授業支援(三河台小)



地域の方々と一緒に行った朝の挨拶運動(岳陽中)

令和 7年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.3	渡利学習センター
対象校	渡利小学校 南向台小学校 立子山小学校 渡利中学校

1 学校でコーディネート(対応)し、実施した学校支援活動・地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	渡利小学校	6月23日 11月10日	総合的な学習の時間(3学年2クラス) 「わたりのすてきを伝えよう」 りんご栽培についてのお話	6	10	りんご作りの工夫や苦勞を知り、農家の仕事についての理解を深めるとともに、地域の良さ素晴らしさに気付くことができた。
2		10月2日	生活科「まちたんけん」 (2学年2クラス)	10	10	安全面について配慮、支援していただき、十分な学びができた。
3		11月19日	茶道の先生をお招きし、茶道体験教室を行った。	6	6	歴史の学習と関連させながら、楽しく日本文化を体験することができた。
4	南向台小学校	年10回	読み聞かせボランティア (全学年読み聞かせ)	6	60	物語を読む時に登場人物の性格や特徴物語全体のを具体的にイメージしている児童は6割以上であった。 (県・全国は8割以上)
5		月1回	生け花ボランティア	2	24	児童の情操を豊かに育んでいる。
6		4月～6月	学習支援1年～6年	1	119	地域の学習ボランティアによる個別支援は貴重な体験となった。
7		6月12日	峯山太鼓体験学習(3年)	3	3	和太鼓演奏体験は貴重な体験となった。
8		9月24日	木工クラフト体験学習(4年)	2	2	地域の公園で採取した木の実などを使った体験学習は有効であった。
9	立子山小学校	5月31日	全校児童(3学級)でプランターに花の苗を植え、地域にある公共施設等に配り、育ててもらった。	10人以上	10人以上	子ども同士はもちろん、家庭や地域の方々と触れ合いながら苗植えをすることで、立子山地区の一体感を味わうことが出来た。
10		5月31日	全校児童が地域に伝わる太鼓演奏の指導を受け、全校児童で演奏した。	3	3	児童が活動している姿を保護者にも見ていただくことで、地域の伝統を継承しようとする思いが高まった。
11		6月27日	読み聞かせボランティアによるお話を全校生で聞いた。絵本の読み聞かせに効果音を入れるなど工夫した内容だった。	8	8	読み聞かせに効果音を入れるなど内容が工夫されていたので、子ども達も真剣に耳を傾け、絵本の世界を十分に楽しめた。
12		12月16日	全校児童で地域にある斎藤吉光食品へ行き、凍み豆腐の作り方や干すときの編み方を学習し、実際に学校で実践してみた。	2	2	実際に地域の産業に触れることで、地元地域の良さに気づき、立子山への誇りや思いをもつことができた。
13		1月30日	3～6年生(2学級)で学校で干した凍み豆腐を使い、調理して試食した。	5	5	地域の特産物である凍み豆腐のおいしい食べ方を知り、家族などに伝えることができた。
14	渡利中学校	4月 8日 4月10日	地域学習・ボランティア活動 (2学年:弁天山 3学年:花見山) ○ 地域の名所見学と周辺のゴミ拾い活動	10人以上	10人以上	地域の名所に触れることで、その魅力を実感すると共に、地元地域への奉仕の大切さを感じ取ることができた。
15		9月 8日～12日	職場体験活動(2年3クラス) 各職場での体験活動を実施	39	39	39の事業所で実際に仕事を体験し、勤勞の大切さや苦勞、または楽しさを感じることができ、自己の将来へ向け考える良い機会になった。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	渡利小学校	4月14日	授業参観時における学級懇談会での預かり児童の支援	5	5	校内に待機する児童の宿題や自主学習、読書の見守りを行った。
2		11月25日 12月11日	5年生の学習支援 <家庭科(ミシン)・体育>	4	5	5年生児童の学習活動を支援し、内容の定着化を図った。
3		9月～2月	海外からの転入児童(1名)の学習支援	1	15	通訳及び日本語の指導を行うことで、学習・生活両面で意欲をもたせることができた。
4		1月30日 2月 6日	2学年2クラスが学習センターを訪問し、説明を受けながら図書室の見学を行った。	2	4	身近な公共施設を訪問することで、地域への関心を深めることができた。
5		2月6日	1年生が地域ボランティアの方々と一緒に、「昔遊び」の体験活動を行った。	10	10	児童がボランティアの方々と一緒に楽しく触れ合い、昔ながらの遊びの面白さを十分に感じ取ることができた。

6		2月26日	授業参観時における学級懇談会での預かり児童の支援	3	3	校内に待機する保護者待ちの児童の宿題や自主学習、読書の見守りを実施。
7		9月～12月 10月11,12日	展示期間別による各校からの作品借用展示 第42回渡利・立子山地区文化祭作品展示			中学校美術教諭が複数校掛け持ちのため、展示予定が連絡不行き届きで生徒作品の借用ができなかった。
8	渡利小学校 南向台小学校 立子山小学校	7月23日 12月26日	わたり寺子屋 合計10名 「夏休みの課題・自由研究」に取り組もう」 (渡利小3人・南向台小1人) 附属小2 「書初め展」の練習と仕上げ (渡利4年生1人・南向台3,4,5年生各1人)	1 1	1 1	参加申し込みは、前期6名、後期4名であったが、前・後期ともに体調不良で1名ずつ欠席している。また、後期の「書初め」については、参加者数の確保について検討の余地あり。 地理的な問題だが、立子山地区は遠距離であり本館での活動は難しい状況だと思われる。
10		6月26日	福祉体験活動(1年2クラス)の講師を紹介していただいた。	13	13	高齢者疑似体験、車いす体験、障害者スポーツ体験と多くの体験ができ、様々な福祉について理解を深めることができた。
11	渡利中学校	10月12日	「渡利・立子山地区文化祭」の場に於いて、本校吹奏楽部に発表の場が設けられた。			吹奏楽部に発表の場を設定していただき、緊張の中での発表を経験できた。また、地域の方々からは温かい言葉をいただき、意欲の高まりが見られた。
12		1月21日	1学年のキャリア教育「職業人に聞く会」の講師依頼をサポートしていただいた。	4	4	飲食店、病院、幼稚園、美容院で働いている方より、それぞれの仕事内容や働く意義、または魅力などを具体的に話していただき、将来のキャリアを考える良い機会となった。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

	項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	4
Q3	学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	3
Q4	地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	3
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○ 学校からの要請に可能な限り対応することが出来た。各学校で本事業が周知されてきていると思われる。

● 年間計画で予め予測されている「ミシン」指導などのコーディネートは、年度当初から動くことが出来るので取り組みやすいが、臨時的に要請される学習支援等については、ニーズに即したコーディネートは難しい時があった。

※ 臨時的な学習支援、ボランティアのコーディネートについては、各指導員のネットワークを活用するなどの方法によって対応することも検討出来るのではないか。

5 活動、支援の様子



渡利小 2学年
図書室見学



渡利小 1学年
「昔あそび」



渡利中 1学年
「職業人に聞く会」

わたり寺子屋
「書初めを仕上げよう！」



令和7年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.4	杉妻学習センター
対象校	清明小学校 杉妻小学校 福島第一中学校

1 学校でコーディネートし、実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	福島第一中学校	10月30日	全校生「家庭教育講演会」 講師:元プロボディボーダー 堀 由美恵 氏	1	1	聴覚障がいのある元プロボディボーダーの体験談を聞き、豊かな人間関係づくりの大切さを考える機会となった。
2	福島第一中学校	12月9日	1学年5学級「職業人に学ぶ会」 各職種講師をコーディネートし講義をいただく。	7	7	働く意義や魅力などを知り、将来の進路選択に役立てる機会となった。
3	清明小学校	年間	図書読み聞かせ(昼休み:全学年)、図書整理	13	13	年間を通じて、本の読み聞かせを開催していただき、子どもたちの興味関心を高めることができた。
4	杉妻小学校	5月27日	小中義務教育学校出前講座(4学年4学級 これであなたも分別ハカセ！)	3	3	福島市のゴミの現状や福島市がごみ排出ワースト2位となっている原因などを知ることができた。
5	杉妻小学校	6月5日	リコーダー講習会(3学年3学級 リコーダーの奏法について学ぶ)	1	1	タンギング等の技術指導が的確でわかりやすかった。児童がリコーダーの音色のすばらしさを感じ取ることができた。
6	杉妻小学校	6月24日	水道出前講座(4学年 4学級 水をきれいにする実験など)	7	7	簡易ろ過実験で、飲料水ができるまでが分かり、水道クイズ、質問コーナーにより、興味・関心を広げることができた。
7	杉妻小学校	9月4日	大好き杉妻大発見(3学年3学級 諏訪神社の由来、地域での役割等について)	3	3	各学級1名ずつ担当していただき、ていねいな説明で児童は諏訪神社の奥深さに興味をもつことができた。
8	杉妻小学校	9月18日	諏訪神社の伝統(3学年3学級 諏訪神社の太鼓の鑑賞と体験をする。)	3	3	太鼓の生の音を聴いたり、体験したりすることで、祭りを身近に感じ、探究活動を深めることができた。
9	杉妻小学校	9月25日	ポッチャ体験(5学年3学級 学年を半分に分けてポッチャ体験をする。)	3	6	誰が行っても楽しいことを実感できた。オリンピックへの心構えを学び自分の生活にいかそうとすることができた。
10	杉妻小学校	10月16日 10月24日	学習発表会に向けた太鼓演奏の指導(3学年3学級 グループごとに太鼓演奏の指導を受けた)	1	2	太鼓の演奏法だけでなく、聴衆へのアピールができるような手法も伝授いただき、児童の太鼓演奏の意欲が高まった。
11	杉妻小学校	11月19日 11月25,26日	点字講座(5学年3学級 3日間の点字体験を行う。)	4	12	視覚障がいがある方への接し方について知ることができた。点字の打ち方、読み方のルールを学ぶことができた。
12	杉妻小学校	11月20日	SNS教室(5学年3学級 授業参観の際、児童と保護者を対象にSNSの危機感についての講話)	1	1	子どもたちがSNSの怖さについて実感できた。親子で携帯電話等の約束事を確認することができた。
13	杉妻小学校	12月4日	手話教室(5学年3学級 学年を半分に分けて手話体験をする。)	2	4	デフリンピックの意義を学び、興味を高めた。聴覚障がい者の生活を知り、接し方を学んだ。簡単な手話を覚えた。
14	杉妻小学校	12月16日	水はどこから(4学年4学級 西根堰について知る。)	1	1	西根堰を大変詳しく教えていただいた。資料を準備し、子どもの質問に分かりやすく答えていただき理解を深めた。
15	杉妻小学校	12月17日 12月19日	タグラグビー(2学年3学級 タグラグビーのルールを知り楽しく体を動かす。)	1	2	1回目は学級、2回目は学年でご指導いただき、楽しく体を動かしたりルールを理解したりすることができた。
16	杉妻小学校	2月3日	ふくしんマネースクール(5学年3学級 お金との上手な付き合い方を学ぶ。)	4	4	お金の使い方を確認し、大切に使う姿勢を育てることができた。
17	杉妻小学校	2月16日	福祉講座(5学年3学級 車いす体験を行ったり、福祉とは何かを考えたりする。)	5	5	福祉に携わる人々の苦労や喜びを知り、自分たちにできることを考えることができた。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	福島第一中学校	10月25日	合唱部 地域文化祭への参加	10	10	地域文化祭の開会式と芸能発表の場において地域との交流を図ることができた。
2	福島第一中学校	12月9日	1学年5学級「職業人に学ぶ会」 各職種の講師をコーディネートし講義をいただく。	7	7	働く意義や魅力などを知り、将来の進路選択に役立てる機会となった。
3	清明小学校	2月2日 ～3月13日	学習支援ボランティア(5年算数)	4	32	学習内容の定着が不十分な児童などへの個別の支援をしていただき、児童の意欲向上につながった。
4	杉妻小学校	1月21日	1学年2学級 生活科「冬をたのしもう」 昔遊びをしよう。	15	15	昔遊び(9種)の楽しさを実感でき、地域の方との交流を図ることができた。
5	杉妻小学校	1月22日	2学年3学級 生活科「だんごさし」	12	12	地域ボランティアの指導で伝統行事を体験した。(場所:学習センター)
6	地区幼小中	10月25日 ～10月26日	杉妻地区文化祭への作品出品	50	50	杉妻地区幼小中の作品を展示し来場者の目を楽しませてくれた。
7	清明小・杉妻小 福島一中	6月～1月	児童生徒の作品展示	23	23	地区小中生の作品を館内掲示板に展示し、来館者および地域との交流につながった。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1 学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2 事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3 学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4 地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	3
Q5 地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6 統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○各学校教育活動の目的に準じたコーディネートは、概ね達成できた。昨年度の反省を生かして、該当学年主任との連絡調整を短時間でスムーズに行うことができた。※次年度、活動時期について、調整を行う。

○学校の要望を地域ボランティアに伝え、共通理解を図り実践することは時間を要するが、子どもとのふれあいを楽しみながら活動していただいた。

●これまでのように地域ボランティア数を確保できず、本来必要とする人員を下回っている。学校母体のボランティアと連携を図る。

●各学校との協働事業を進めるにあたって、役割分担を明確にしながら事業を展開するようにする。

※発案、要請・要望等のやり取りは、担当学年や地域と効率的に進めながら、双方の代表・責任者に適宜報告・連絡、助言をいただく。

5 活動、支援の様子



【だんごさし体験】



【小学生作品展示】



【昔遊びの会】



【中学生作品展示】

令和7年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.5	蓬萊 学習センター
対象校	蓬萊小学校 蓬萊東小学校 蓬萊中学校

1 学校でコーディネート(対応)し、実施した学校支援活動・地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	蓬萊小学校	6/16.18.26.30 7/4.7.14	全学年・プール学習ボランティア ・低学年児童着替え等の補助 ・プールサイドでの活動の監視	8	15	プール学習時の児童の安全確保のために、監視をしていただき、指導者も安心して学習を進めることができた。
2	蓬萊小学校	11/7.14.21.28 12/5.12. 1/16.23 2/6.20 3/6.13	読み聞かせ	2	10	各学年の児童の興味関心に合わせた本の読み聞かせをいただくことで読書への興味関心が高まった。
3	蓬萊小学校	5/22	PTAによるプール清掃協力	10	10	児童、教職員だけでは作業しきれない点を補助していただき、効率よく清掃作業を行うことができた。
4	蓬萊小学校	6/27 7/3.4.7.11	PTAによる学習ボランティア	5	11	個別指導が必要な児童や学習習慣が未定着の児童に対して、見守りや声掛けをしていただき、児童は安心して学習に取り組むことができた。
5	蓬萊小学校	5/16 5/27 10/17	蓬萊なごみ会によるサツマイモ植え・サツマイモ収穫 2年・1クラス・畑の畝づくり、苗植え、収穫の指導・補助	4	9	生活科の学習で、専門的な知識を有するなごみ会の方のご協力をいただいたおかげで苗植えや収穫を体験することができた。
6	蓬萊東小学校	令和7年5月 ～令和8年3月	特別支援学級の児童支援ボランティア(特別支援学級3学級・交流学習の児童引率、学習サポート等)	9	36	特別支援学級の児童に寄り添い、きめ細やかにサポートしていただいた。図工では、児童一人では難しい作業を支援していただき、安全に進めることができた。
7	蓬萊東小学校	令和7年5月	長秀院ご住職さんを訪ねて(3年1学級、昔の蓬萊地区についてお話を聞かせていただく)	1	1	地域に長く生活をする住職さんに、地域の皆さんや、昔の人から聞いたお話を取り入れながら、今の蓬萊地区ができた経緯について理解できて有意義だった。
8	蓬萊東小学校	令和7年6月 ～令和7年10月	学校林を活用した森林環境教育促進事業 蓬萊里山ふれんずの会を講師に、学校林の調査、自然体験(フォレストパークあだたら)等の活動を実施(4年1学級)	5	16	森林について調べ、自然と直接触れ合う活動をとおして、森林の多様な機能や自然の仕組みについて学ぶことができた。
9	蓬萊中学校	6月30～7月4日	職場体験活動(2年生) 今年度は、蓬萊地区を中心に24事業所(飲食店、スーパー、医療機関、公共機関等)にお世話になった	64		学校では学ぶことができない、働くことの意義や社会貢献をすることのやりがいなど、貴重な体験をすることができた。 受け入れ日数が少なく、2つの事業所で体験活動をした生徒もいた。
10	蓬萊中学校	7月1日	1年生社会人に聞く会 地元の本ネカタ株式会社の方々に来航いただき、日本のトップ企業を支える最先端技術や、その技術を開発するチャレンジ精神など、社会人として仕事に対する働く事への意義や誇りについて話していただいた。	47		蓬萊にこのような日本トップレベルの技術を持つ企業があることを知り、とても誇りに思ったという生徒が多かった。また、名前を知っていても何をしている会社なのかかわからなかったのを知れてよかったという感想が多く聞かれた。
11	蓬萊中学校	7月14日	1年生 語り部から聞く会 二本松在住の佐藤敬子さん(元教員)においていただき、今回の授業では、佐藤さんが震災当時勤務していた安達郡の小学校の児童たちを、必死で避難させたお話を、原発事故による放射線の影響で復興が遅れていること、被災地住民の帰還率の低さなどについて説明いただいた。また、一方で福島復興に熱い思いを持って取り組んでいる方々についても話も紹介していただいた。	47		生徒たちからは、震災の悲惨な話だけでなく、福島未来に向けての明るいお話が聞けて良かったという感想発表があり、生徒一人一人がこれからの福島のために、自分たちでできることは何か、についてじっくり考えさせることができた授業となった。
12	蓬萊中学校	8月25日	福島県立医科大学の鈴木悟教授と、池田紀子准教授他4名の医大スタッフが来校し、放射線教育の一環として甲状腺検査に関する出前授業を行った。実際に検査に使われる医療機器のエコーを使った実演や、福島県で震災後に甲状腺検査が行われてきた経緯について話していただいた。	64		14年間の医大の検査結果から、福島県の甲状腺がんの発症率が他県と変わらないことや、原発事故との明確な因果関係についても明らかになっていないことを、データを示しながら解説し、必要以上に不安がることはないことを説明してくれた。甲状腺検査(希望者)の前日の授業となったこともなり、生徒たちは真剣に話に聞き入っていた。
13	蓬萊中学校	11月4日	小6中2ボランティア活動計画 来年度に蓬萊中学校の新入生になる小学校6年生と来年度最上級生になる中学校2年生で蓬萊中央公園のクリーン活動をする。	小36 中64		クマ出没により中止 小中連携の大事な行事であり、中止になって残念だった。
14	蓬萊中学校	12月11日	薬物乱用防止教室 学校薬剤師の齋藤英子先生を招いて開催。市販薬でも服用の仕方(オーバードーズ)によっては、危険な薬物になるというお話をいただいた。薬物乱用の4割が市販薬であることが驚きだった。	64		毎年2年生対象で行っているが、最近ではオーバードーズが話題となっていたこともあり、子供たちの関心も高かった。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより、実施した学校支援活動・地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日以外は	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	蓬萊小学校	6月16日	ボランティアによる校地内環境整備 ・中庭の除草、剪定作業	6	6	用務職員だけでは行き届かない、中庭の除草と樹木の剪定をしていただき、環境整備を進めることができた。
2	蓬萊小学校	9/ 8 9/12 9/17	蓬萊レディスカレッジによるミシンボランティア 5年・1学級 家庭科ミシン学習補助 ・ミシンの調整・操作の補助	8	17	ミシンを使った裁縫学習に向け、事前のミシン調整やミシン掛けの作業の支援をいただいたことでミシンを上手に使う製作活動を進めることができた。
3	蓬萊小学校	11/19 12/ 1	蓬萊レディスカレッジによるミシンボランティア 6年・1学級 家庭科ミシン学習補助 ・ミシンの調整・操作の補助	9	17	ミシンを使った裁縫学習に向け、事前のミシン調整やミシン掛けの作業の支援をいただいたことでミシンを上手に使う製作活動を進めることができた。
4	蓬萊東小学校	令和7年5月 ～令和8年2月	おかあさんのおはなし会(全学年・9学級) 本の読み聞かせ	8	60	児童が落ち着いて本の読み聞かせの時間を過ごすことができた。児童と本をつなぐ活動になった。
5	蓬萊中学校	10月3日	第50回蓬萊地区文化祭の準備 蓬萊中の美術部が文化祭作品展示用のパネル設置の手伝いと事項の作品展示を行った。	6		パネル設置は中学生の若い力を地域のために役立てることができた。壊れやすい作品等もある為、自校の作品以外は展示のお手伝いが難しい。
6	蓬萊中学校	10月4日	第50回蓬萊地区文化祭の準備 蓬萊中3年生3名が、文化祭の学習発表会の司会を務めた。	3		中学3年生より希望者を募った。今年度は男子生徒3名で明るく元気に司会を務めた。地域の方から明るい拍手をいただき、本人たちの自信にもつながった。
7	蓬萊中学校	11月23日	親子清掃活動 蓬萊小・中の児童生徒保護者が地域の方々と、蓬萊中央公園の落ち葉拾いを行う。	20		クマ出没により中止
8	蓬萊中学校	1月31日	明るい蓬萊を作るための意見交換会 毎年中学2年生が出品し、中学校からは10作品を選出される。当日は小中学校から選出された児童生徒と地域の方で意見交換会を行っている。	10		毎年、標語を作ることで生徒たちの蓬萊地区に対する意識の寒気が行われている。意見交換会も有意義な話し合いが行われている。入選者全員の参加が難しいところが課題である。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1 学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2 事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	4
Q3 学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4 地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	4
Q5 地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	3
Q6 統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

- 各学校の要望を受けて、地域団体へボランティアを依頼して、要望通りの活動を行うことができた。ボランティアをしてくださった方々も、子どもたちとの触れ合いが楽しかったと、満足していただくことができた。
- 各校担任と事前にボランティアの内容と支援してほしい範囲について打ち合わせを行ったので、充実した学習活動を支援することができた。
- 蓬萊東小学校において家庭科のミシンの指導補助のボランティアを依頼されていたが、インフルエンザによる学級閉鎖の為、キャンセルになってしまった。ボランティアを依頼した方々は、代替えの日があればやってくださるとおっしゃっていただいたが、日程が合わず実施できなかった。

5 活動、支援の様子

学校の環境整備についての依頼があった。昨年度から中庭の除草とアジサイの剪定ができていないので、授業時間が終わってから作業をお願いできないかとのことで、地区の老人会にボランティアをお願いした。快く引き受けていただき、2時間ほどの作業で、きれいに整えることができた。

ボランティアで活動いただいたことを地域の方々にも広めるため、学習センター館内に活動している様子を掲示した。学校とボランティアをしてくださった方々だけの関係ではなく、そのことを地域の方々にも知ってもらえることで、ボランティアをしてくださった方々のさらなる意欲も高まっていた。



学習センターの文化祭のための会場づくりを中学生に手伝ってもらった。中学生が大人と一緒に作業していることで、地域の方々から中学生の活躍に大変好評をいただいた。

令和7年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.6	清水学習センター
対象校	御山小学校、北沢又小学校、清水小学校、森合小学校、清水中学校

1 学校でコーディネートし、実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	御山小	4月(7回)	給食支援ボランティアとして1学年2学級に給食の配膳と片付けの補助に入っていた。いただいた。	8	29	給食の準備と片付けの仕方をスムーズに指導でき、担任の負担が減った。
2		6月(2回)	体力テストボランティアとして1学年の体力テストの計測補助に入っていた。いただいた。	2	3	測定や記録の補助していただき、担任の負担軽減となった。正確な測定結果を記録できた。
3		6~11月(9回)	ソーイングボランティアとして5学年2学級に家庭科の裁縫指導の補助に入っていた。いただいた。	5	18	ミシンの使い方などの指導が行き届き、担任の負担が減った。
4		6~7月(16回)	プールボランティアとして1~5学年のプール指導の際の監視・補助に入っていた。いただいた。	9	28	事故防止に役立ち、プールでの授業を安全に進めることができた。
5		6月(2回)	図工ボランティアとして4学年2学級に図画工作科の金槌・のこぎりの指導の補助に入っていた。いただいた。	3	6	事故防止に役立ち、担任の負担が減った。
6		7~2月(12回)	読み聞かせボランティアとして各学年各学級に紙芝居等の読み聞かせに入っていた。いただいた。	4	36	児童の読書への関心を高めることができた。
7		5~2月(25回)	図書ボランティアとして図書室の整理や本の修理等の作業をしていただいた。	2	30	図書室の環境改善に役立ち、司書教諭の負担が減った。
8		毎週月曜日	生け花ボランティアとして、校長室や昇降口等に花を生けていただき、環境整備に尽力いただいた。	1	33	環境が整えられ、子どもたちの学校生活が潤いのあるものとなった。
9		授業日(約200回)	登下校の見守り、声かけを行っていた。いただいた。	10	約2000	子どもの事故防止が図られた。交通ルールやあいさつなど、その都度お声がけいただき、子どもたちの成長につながった。
10		1学期(1回) 2学期(4回)	栽培ボランティアとして、畑の作物の収穫体験や栽培活動への助言を行った。	4	20	収穫体験を通して、食物を得るありがたみを学ぶ機会となった。作物の生育に必要な助言をいただき、活動に自信を持って取り組むことができた。
11		9月25日	「地域の名人に学ぼう」に、地域の方々を招き、発達段階に応じた様々な活動について教えていただいた。	60	60	学校では取り組まない活動を教えていただき、地域の方と交流を深め楽しい時間を過ごすことができた。地域の方からの賞賛や励ましにより、子どもたちの自信につながる活動となった。多数の名人にコンタクトを取り、日程調整する負担軽減のため、さらに学習センターのご協力もいただき、充実させたい。
12	11月11日	特別支援学級5学級がJA婦人部から講師を招き、米粉を用いたパンケーキ作りを体験した。	7	7	米粉の調理を通して、米を活用することの大切さとそこにかかわる人々の思いを学ぶことができた。	
13	12月11日	福島工業高校の出勤授業でICTクラブ員30名がドローンのプログラミングと操縦を体験した。	5	5	高校生からの機械工学に関する詳しい説明や実演により、将来に向けた夢や目標をふくらませることができた。	

14	北沢又小	1月20日	4年生2学級がJA婦人部から講師を招き、りんごを材料にしたジャム作りを体験した。	7	7	ジャム作りを通して、地域素材を生かす大切さとそこにかかわる人々の思いを学ぶことができた。
15		2月2日	5年生2学級が邦楽演奏者を講師に招き、箏の演奏を鑑賞し、演奏も体験した。	2	2	普段は触れる機会が少ない箏演奏の鑑賞や体験により、邦楽への興味・関心を高めることができた。
16		2月17日	6年生3学級が嶽駒神社の宮司様を講師に招き、雅楽の鑑賞や演奏体験を行う。	3	3	地区内神社の宮司様を講師とした雅楽演奏にふれ、雅楽を身近に感じるとともに興味を深めるよい機会とすることができた。
17	清水小	6月2日 11月4日	第5学年 総合的な学習の時間 佐藤昌弘さんによる米づくりの苦労や工夫について	1	2	地域の方の生の声をきくことによって、協力や勤労についての思いや願いを感じることができた。
18		6月18日	第6学年 総合的な学習の時間 「老人保健施設にじのまち」と「NPO法人あおば」の見学	8	8	実際に地域の介護や福祉の現場を訪れ、初めて知ったことや考えたこと等をまとめ、学習の成果として、学習発表会で発表することができた。
19		7月7日	第5学年 総合的な学習の時間 JAふくしま未来、池田規明さんによる米づくりの講話	1	1	米の品種や農家の苦労、米の流通の仕組みなどについて学んだ成果を学習発表会で発表することができた。
20		7月7日、9日、10日	第3学年 社会科 店ではたらく人びとの仕事 ヨークベニマル 福島泉店見学	3	9	店で働く人が商品の品質や安全に気をつけ、買う人の立場に立って様々な工夫をしていることを学ぶことができた。
21		11月9日	PTAさやなぎ祭り 地域の方(母の会等)約30名	30	30	さやなぎ祭り開催にあたり、運営の一部を補助していただいた。
22		11月13日	科学クラブ活動 福島工業高校 出前授業 プログラミングソフトを使った、ドローンの飛行実験	7	7	プログラミングの楽しさを味わうことができた。
23		11月27日	第3学年 総合的な学習の時間 佐藤 さんによる地域の宝の講話	1	1	地域に残る神社・仏閣の歴史について知ることで自分が生まれた地域に対する思いを高めることができた。
24		11月17日 12月15日 16日	第6学年 総合的な学習の時間 7名による学習指導補助	7	21	児童個人向けの卒業記念品(革細工)を作成することができた。
25		9月17日	二つ山公園散策(3学年・3学級・総合的な学習の時間の際の安全補助)	2	6	児童も教師も安心して公園散策に取り組むことができた。パークゴルフをしている方々も多かったことから、注意しながら散策することができた。
26		6月16日 10月29日	町探検(2学年・3学級・町探検の際の安全補助)	18	36	道路を歩行する際の声かけや、店での行動を見ていただくことで、安全に町探検をすることができた。
27	10月21日 11月13日	二つ山公園探検(1学年・3学級・生活科の学習の際の安全補助)	3	6	道路を歩く際に声かけていただいた。公園散策の際に安心して花や草木の観察に取り組むことができた。	
28	毎月計画的に実施	地域学習クラブ(15回) 【楽しいいけばな・大正琴・ソフトバレーボール・茶道・自然となかよし・テニス・からだづくり・卓球・将棋・料理・プラスバンド・ポッチャ】※水曜日:14時50分～16時00分	30	450	3年生以上の児童を対象に、保護者・地域の方々で各分野に精通した方々に講師としてさまざまな活動を支援していただいた。	
29	森合小	毎月計画的に実施	朝の読書(全学年・全学級・読み聞かせ)	6	54	図書ボランティアの方々を中心に、朝の8時10分～8時20分に読み聞かせやブックトークを実施。読み聞かせを通して、読書への意欲も高めている。

30		10月6日 11月18日	ぼうさい体験パッケージ 防災体験学習 【5年生:総合的な学習の時間】	18	36	5年生では、福島市災害対策室と福島市消防本部予防課に協力を仰ぎ、防災体験学習を行った。(起震車や煙体験、震災時の避難の講話)
31		11月13日、17日、25日 12月2日、8日、15日	ミシンの操作補助 【5年生:家庭科】	1	6	5年生家庭科のエプロンづくりで、ミシンの操作補助をしていただいた。ボビンの取り付けや下糸が絡まったりした際、早急に対応していただいた。
32		1月26日	ジャム作り(4年)	7	8	JAふくしま未来婦人部の方の協力をいただき、4年生3クラスでジャム作りのご指導をいただいた。
33		2月5日3月5日	小中接続あいさつ活動①・② 森合小学校にて【7:30~8:00】	16	20	福島第四中学校生徒会と連携し、森合小学校にて、小中合同のあいさつ活動を実施予定である。
34	清水中	9月20日(土)	しみずキッチン(地域の子ども食堂)の協力を得て、新人大会やコンクール等に向けてがんばっている生徒達のために芋煮で応援をする。	20	30	地域と生徒、教員との距離感が縮まった。恒例となり生徒も地域の方も楽しみにしている。 全校生徒対象とならない。
36		11月19日(水)	小中合同あいさつ運動 清水学校付近で中学生と小学生、それぞれの代表生徒が合同であいさつ運動を行った。			今年度、初めての試みだったが小学生、中学生ともに互いの刺激となった。中学生がタクシーを使って移動した。
37		11月8日(土)	プロスポーツ試合開催時の応援演奏 svリーグバレーボール試合がトヨタクラウンアリーナで実施された際、地域の中学校として本校吹奏楽部が演奏した。			保護者や、学校関係者が試合観戦に招待され、互いの関係づくりのきっかけとなった。 生徒の活動が繁忙してしまう。
38		12月2日(火) 9日(火) 10(水) 1月26日(月)	中学生による保育所訪問、触れ合い体験 家庭科の授業でつくったおもちゃを持参し、中学生が保育所の幼児と一緒に遊び触れあう機会となった。			保育所の幼児が喜ぶ様子が見ることができた。中学生の幼児に対する理解が深まった。 クマ対応で調整が難航した。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	御山小	9月27日	学習センター「生涯学習の集い」で、6年生が鼓笛演奏を披露した。各学年から出品した絵画等の作品を展示いただいた。			これまでの成果を発表させていただき、保護者、地域の皆様に子どもたちの姿を称賛していただく機会となり、子どもたちも充実感を味わうことができた。
2		2月25日	中学生が、御山小学校前にてあいさつ運動を実施する予定である。			卒業生である中学生が気持ちのよいあいさつをする姿を見て、「いいな」「自分もやりたいな」という思いを子どもたちに育むことができると期待される。登校前の活動であるため、中学生を見守る地域ボランティアとの連携を図ることができたら、さらによいと考える。
3	北沢又小	6月30日~7月4日	ドリームアップ事業で職場体験に訪れた信陵中2年生5名と引率の先生方2名が、登校時に校門で児童を出迎え、あいさつ運動に取り組んでくださった。	生徒5 教師2	生徒 25 教師10	信陵中の先輩方のあいさつを模範として、児童にも「あいさつをがんばろう」という意識が高まっていた。
4		10月25~26日	清水地区文化祭に各学年から図工と書写の作品を出品した。	1		児童の作品(毛筆・硬筆、図画・工作)の作品を広く地域の皆様に鑑賞していただくことができた。また、出品した児童にとっても大きな励みとなった。
5		10月25日	清水地区文化祭における、器楽合奏披露	48	48	部員が、心をつ一つにして、日頃の練習の成果を発表することができた。地域の方々にも喜んでいただけた。

6	清水小	9月~12月 毎週水曜日	清水学習センター分館の研修室を活用して「別室登校支援室」での見守り活動	2	32	登校が困難な児童に対し、別室登校の受け皿として機能した。学校復帰に向け、学習支援、情緒の安定を図ることができた。
7		11月~1ヶ月	図工作品の展示	4	4	児童の図工作品を展示することで、子どもの自己肯定感を高め、達成感を育む場とすることができた。作品を通じて、地域住民の学校教育への理解に繋げることができた。
8		11月19日	小中合同での朝のあいさつ運動	4	4	地域一体となった安全な環境づくりや子どもたちの社会性の向上に役立った。
9		11月~1ヵ月	書き初め作品展示	8	8	児童の書き初め作品を展示することで、子供の自己肯定感を高め、達成感を育む場とすることができた。また、作品を通じて、地域住民の学校教育への理解に繋げることができた。
10	森合小	10月25日(土) 26日(日)	清水地区文化祭 1~6年(特別支援学級も含む)に作品(絵画・造形)を出品した。			文化祭に向け、発達段階に応じて各学年の児童が地区の良さをテーマに作品を制作した。他の団体の展示や演目を保護者と一緒に鑑賞した。
11	清水中	10月25日(土) 26日(日)	清水地区文化祭に授業の作品や芸術部の作品を出品した。文化祭後も1ヶ月間、学習センターに作品を展示した。	2	3	生徒の作品を賞賛する場となった。
12		3月28日(土)	吹奏楽部が地域の方に向けて、感謝の気持ちを込めてコンサートを行う。	4	4	恒例となり、地域とのつながりが深まっている。コンクール等の関連で日程が限られている。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1 学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2 事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3 学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	3
Q4 地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	3
Q5 地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6 統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○各学校は、主に学校独自に地域人材を生かして効果的な教育活動を行っている。清水学習センターで行われた「清水地区文化祭」や「生涯学習のつどい」では、実行委員会の要請に応じて鼓笛隊や合奏部の演奏、絵画や工作の作品展示等の参加により、地域との連携も図られており、地域からの評価も高い。今年度は新しい試みとして、学習センター内に各学校の美術作品をローテーションで掲示する期間を設定した。

○期首面談で各学校に提案した、小中接続をふまえた「小中合同あいさつ運動」を進めることができた。

●学校の要請によるボランティア紹介は1件行うことができたが、さらにコーディネートを進める必要があると感じている。

令和7年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.7	もちずり学習センター
対象校	岡山小学校、月輪小学校、福島第三中学校、ふくしま支援学校

1 学校でコーディネートし、実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	岡山小学校	9月9日	3年(3学級)農業施設訪問、見学	3	3	地域の農業施設を見学し、地域の方の思いや願いについて理解を深めることができた。
2	岡山小学校	9月9日	2年(2学級)地域自然学習	2	4	専門的知識を持つ講師に教えてもらい地域の植物や動物について理解することができた。
3	岡山小学校	9月8日 10月10日	3年(3学級)地域探検、見学	3	6	地域の自然や施設を見学し、地域の方の思いや願いについて理解を深めた。
4	岡山小学校	10月2日	2年(2学級)地区探検、見学	3	3	地域の人、もの、ことにふれあい、地域のよさを知ることができた。
5	岡山小学校	10月3日	5年(2学級)地区探検、見学	2	2	施設や公共物を見学し、バリアフリーやユニバーサルデザインについて理解を深めた。
6	岡山小学校	10月7日	1年(2学級)地域自然学習	2	4	専門的知識をもつ方に教えてもらい、地域の植物や動物について理解することができた。
7	岡山小学校	5月14・23・30日 6月25日・11月6日	4年(2学級)地区探検、見学	1	5	地域の文化や伝統を守ろうとしている人々の思いや願いを知ることができた。
8	岡山小学校	11月14・17・19日	3年(3学級)地区探検、見学	3	9	地域の施設を見学し、体験などを通して人々の思いや願いを知ることができた。
9	岡山小学校	11月27日	3年(3学級)地域自然学習	10	10	専門的知識を持つ講師に教えてもらい、地域の植物や動物について理解することができた。
10	岡山小学校	12月1日	3年(3学級)地域学習(消防の仕事)	10	10	地元消防団の方の話から、地域で活躍する方々の願いや思いについて理解を深めた。
11	月輪小学校	5月28日	1,2学年 29名 さつまいもの苗植え付け	1	1	専門的な知識をもつ地域の方の協力により、苗の植え方を理解することができた。
12	月輪小学校	6月19日	3学年14名メダカの育て方の講話・見学	1	1	専門性の高い講話により、意欲的にメダカの飼育に関わろうとすることができた。
13	月輪小学校	6月30日	3学年16名野菜作りの講話・農園見学	1	1	専門的な知識をもつ地域の方の協力により、野菜づくりを理解することができた。
14	月輪小学校	9月12日	3学年 15名 ものづくりについての講話	1	1	専門的な知識をもつ地域の方の講話により、家紋について理解を深めることができた。
15	月輪小学校	10月22日	1,2学年 29名 さつまいもの収穫	1	1	専門的な知識をもつ地域の方の協力により、さつまいもを収穫することができた。

16	月輪小学校	11月20日	3学年15名福島市民家園の見学	1	1	昔のくらしや家屋について専門員の説明を聞き、実際に道具に触れて理解を深めることができた。
17	月輪小学校	11月20日	5学年 5学年 20名 米粉クレープ作り体験	5	5	地域の農産物を生かした料理に関心を持ち班で協力してクレープ作りに取り組んだ。
18	月輪小学校	12月2日	4学年 22名 りんごジャム作り体験	5	5	地域の農産物を生かした料理に関心を持ち、積極的にジャム作りに取り組んだ。
19	月輪小学校	12月8日	1,2学年 収穫したさつまいもによる焼きいも	1	1	さつまいも栽培に協力いただいた方と共に焼きいもを楽しみ、収穫の喜びを味わうことができた。
20	福島第三中学校	1月14日	1年全クラス・職業人に学ぶ会	1	1	地域の職業人から仕事ややりがい、苦労話等を聞き進路について見通しをもつことができた。
21	福島第三中学校	6月4日・7月10日 9月17・18日 10月15日	朝のあいさつ運動	20	20	出身小学校での小学生や地域の方々へのあいさつ運動を通して、感謝されるとともに先輩としての自己有用感を感じることができた。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	岡山小学校	4月8日 ~4月30日	1年(2学級)登校時の支援	6	26	昇降口で新入生支援をしていただき、学級での活動にスムーズにつなげることができた。
2	岡山小学校	6月~10月 (5回)	トイレ清掃	2	7	行き届かないトイレの清掃を行っていただき、児童が気持ちよく使用することができた。
3	月輪小学校	6月11日	5年 家庭 手縫い支援	5	5	玉どめ玉結びの支援・補助により基礎的な技能を身に付けることができた。
4	月輪小学校	6月12日	6年 総合 第1回「月輪の歴史」	1	1	月輪地区の歴史を知るオリエンテーションにより、学習意欲を高めることができた。
5	月輪小学校	6月18日	5年 家庭 手縫い支援	5	5	並縫い等の仕方について補助していただき、基礎的な技能を身に付けることができた。
6	月輪小学校	6月19日	6年 総合 第2回「月輪の歴史」フィールドワーク	1	1	地域の史跡等の案内により、月輪の歴史について理解を深めることができた。
7	月輪小学校	6月24日	2年 生活 町探検引率補助	3	3	引率補助により安全に地域探検ができた。コースについて、ねらいにせまる事前指導が必要だった。
8	月輪小学校	6月26日	6年 総合 第3回「月輪の歴史」フィールドワーク	1	1	フィールドワークにより地域の史跡や由来を知り、月輪の歴史についてさらに学習意欲を高めた。
9	月輪小学校	7月9日	5年 家庭 手縫い支援	5	5	基本的な縫い方を生かした小物作りの支援・補助により、丁寧に作品を仕上げることができた。
10	月輪小学校	9月24日	5年 家庭 ミシン学習支援	5	5	ミシンの基本的操作の支援・補助により、初めてのミシン学習を進めることができた。

11	月輪小学校	9月29日	6年 家庭 ミシン学習支援	5	5	ミシン操作の補助により、基礎的な技能を身に付けながらエコバックを制作することができた。
12	月輪小学校	10月2日	5年 家庭 ミシン学習支援	3	3	直線縫いや糸始末について支援補助していただき、ミシンの扱い方に慣れることができた。
13	月輪小学校	10月8日	5年 家庭 ミシン学習支援	4	4	個に応じた支援補助により、どの子ども意欲的に活動しエプロンを作成することができた。
14	月輪小学校	11月6日	2年 生活 町探検引率補助	2	2	学区内探検活動の引率支援により、安全に地域学習を行うことができた。
15	月輪小学校	11月13日	校内マラソン大会 走路誘導・安全確保	12	12	校地の外を走るため、児童の安全確保に協力いただき、安心して走ることができた。
16	月輪小学校	11月14日	1～6年 絵本の読み聞かせ等 (低・中・高学年ブロックごと)	6	6	読み聞かせ、手遊び等により、楽しくお話に親しんだ。発達段階に応じた内容であると尚よい。
17	月輪小学校	12月17日	5年 家庭 みそしるとごはん 調理実習補助	5	5	炊飯、だしの取り方について支援いただき、炊き上がる様子やみそ汁の作り方について理解することができた。
18	月輪小学校	1月20日	1, 2年 生活 昔遊び支援	4	4	竹馬、缶ぼっくり等の昔遊びに親しんだ。補助により、どの子ども安心して取り組むことができた。
19	福島第三中学校	10月25・26日	もちずり地区文化祭スクールボランティア	14	14	生徒たちが生き生きと文化祭の運営に携わり、大変有意義であった。
20	福島第三中学校	10月25・26日	もちずり地区文化祭 作品出品	24	24	美術の時間や部活動で作成してきた作品を地域の方に発表する場となった。
21	福島第三中学校	11月29日	もちずりブロック少年会卓球教室 講師役	6	6	優しく小学生に教えるとともに育成会の方々からお褒めの言葉をいただき自己有用感がもてた。
22	ふくしま支援学校 小学部	4月24日	全学年15学級 避難訓練 2次避難場所(音楽堂)に移動する際の安全確認	4	4	安全確保が必要な所にボランティアの方がおり、児童は安心して移動することができた。
23	ふくしま支援学校 高等部	7月7日	2年(3学級) 清掃活動における生徒への活動支援	3	3	普段は清掃できない場所をどのように清掃するときれいになるかを具体的に指導していただいた。
24		11月19日	3年(3学級) フラワーアレンジメント	2	2	一人一人に細かな支援していただき、生徒たちは豊かな時間を過ごすことができた。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1 学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2 事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3 学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4 地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	3
Q5 地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6 統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○ 調理実習の補助、町探検の引率補助など新たな活動依頼が増えた。本事業について学校側の理解が深まってきたといえる。年間を見通した活動計画を出してもらったのでコーディネートを進めやすくボランティアの方も早めに準備することができた。

○ 中学生が小学校へ出向いて行う朝のあいさつ運動は、昨年度より回数を増やして実施することができた。代表委員会の児童やPTAの方が一緒に参加して行った学校もあった。

○ ボランティアの方は、感謝の気持ちを伝えられると大変喜ばれ、次への活動意欲へ結びついている。ふくしま支援学校では、お礼の気持ち伝えることからボランティアの方との年賀状のやり取りにまで広がった。感謝の気持ちを伝えるよう学校へ呼びかけることも大切だと思う。

○ 子どもたちの前での活動はできないが、トイレ清掃の協力をしたいという申し出があり、岡山小学校でトイレ清掃を行ってもらった。運営委員会での紹介や口コミなどで、少しずつではあるが地域の方にも活動が認知されつつある。一方的に清掃してもらうだけでなく、今後、児童と一緒に清掃する活動に広めていってもよいのではないかと。

● ボランティアの方の高齢化が進んでいる。フラワーアレンジメント等は誰にでもできるわけではないので、別の方を探すとか別の活動にするなど考えていく必要がある。

5 活動、支援の様子



1年生入学時支援
(岡山小)



避難訓練
(支援学校 小学部)



フラワーアレンジメント
(支援学校 高等部)



調理実習
(月輪小)



卓球教室
(福島三中)



町探検
(月輪小)

令和7年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.8	北信学習センター
対象校	鎌田小学校 瀬上小学校 余目小学校 矢野目小学校 北信中学校

1 学校でコーディネートし、実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	鎌田小学校	1月28日	1学年 2学級 コマ遊びやけん玉, お手玉遊び等の昔遊びの仕方を教えていただいた。	9	9	子ども達はボランティアの優しい指導のもと昔遊びの仕方を学び取り, その面白さを体感することができた。また, 地域の方々との交流を図ることができた。
2	瀬上小学校	9月11日 10月2日	2学年3学級の生活科「せの上町をたんけんしよう」において, 保護者ボランティアの方に安全を見守っていただいた。	18	27	一緒に探検していただき, 安全管理をしていただいたため, 安心して探検することができた。
3	瀬上小学校	4月23日 6月3日 9月16日 9月30日	3学年3学級, 総合「われらアップルたんけんたい」でリンゴ農家(保護者)のリンゴ畑を訪れた。受粉・摘果・収穫・反射シート敷き体験などを行った。3学期に「流通についての講話」「ジャムづくり体験」を行う予定。	1	5	1学期に1本ずつの木を担当し, 全員が作業をすることができた。反射シートを敷く際も, 学級で2本ずつ担当したので, 全員で協力して体験することができた。天候に左右されるので調整が難しかった。
4	瀬上小学校	1月22日	5学年3学級, 家庭科で味噌づくり体験を行った。地域の良さ発見したい。	1	1	学区内にある内池醸造より講師を招き, 実際に味噌づくり体験をした。煮あがった大豆を握りつぶすなど貴重な体験ができた。大豆を3学級分煮るのが大変。
5	瀬上小学校	7月10日 10月2日	6学年3学級, 家庭科で味噌づくりの天地ガエシを見せていただいた。	1	2	子どもたち自身が5年生の時に作った味噌がどのようになっているかを見ることができた。味噌の発酵の状態や様子を実際に見ることができた。その味噌をその場で少し味見した。とても有意義な時間であった。
6	瀬上小学校	5月19日	鼓笛パレードで楽器を運んでいただいた。	6	8	例年通り, とてもスムーズに楽器運搬を行うことができた。
7	瀬上小学校	5/16,30 6/27 10/3,17 11/7,21	1~3学年の各学級, 朝の10分程度の時間で, 学生が絵本の読み聞かせをしてくれた。(2人×9学級×10回)	160		読み方や前後の話し方, 内容も上手になって, 子どもたちも楽しむことができた。
8	余目小学校	5月10日	運動会(1~6年 学級数7) ・会場準備・片付け ・記録写真撮影 ・審判 ・来客接待 ・各競技準備・片付け ・駐車場整理	32	32	学校の教職員だけでは手が回らない部分を支援していただき, 大変ありがたかった。
9	余目小学校	5月~11月	野さいを育てよう(2年 学級数1) ・さつまいもさいばい	1	8	学区内で農業を営んでいる方に専任講師をお願いし, 栽培の指導をしていただいた。収穫の喜びなどを体験することができ, 農業に対する関心を深めることができた。
10	余目小学校	6月10日 11月18日	町たんけん(2年 学級数1) ・各見学場所ごとのグループ引率	4	8	複数のグループに分かれて学区内の探検場所を訪問するため, 担任だけではできない活動であった。保護者の方々に各グループを引率していただき有意義な活動ができた。
11	余目小学校	6月~3月	図書ボランティア(3名) ・図書館整備, 読み聞かせ	3	30	図書室の環境整備, 蔵書点検, などを行っていただいた。昼休みに行ってくださった読み聞かせの会(ペープサート)は, 児童に大変好評で, 読書への関心を高めることにつながった。
12	余目小学校	10月29日	北信学習センター訪問(2年 学級数1) ・学習センター見学	0	0	初めて学習センターを利用する機会となる児童もあり, 地域の公共施設を身近なものにする貴重な機会となった。学校から徒歩で移動する際の安全確保が難しい。

13	余目小学校	12月19日	楽しく作ろう(特支1 学級数1) ・ペーパークラフト教室	1	1	保護者の方を講師に、ダンボールで動物を作る活動を行っていただいた。3名中2名欠席。人数が少ない学級なので、欠席が重なってしまい残念であった。
14	余目小学校	2月20日	ゲートボール名人に教えてもらおう(1~6年 学級数7) ・ゲートボール名人にゲートボールのやり方を教えていただく。			
15	矢野目小学校	5月9日 6月12日 8月28日 9月25日 12月2日	りんごの受粉・摘果作業の観察・収穫(3年生 2学級)	1	5	りんごの成長を8ヶ月にわたって調べ学習を行うことができた。農家の人との関わりを通して、果物を作る大変さと生産者のりんごへの思いを学ぶことができた。また、社会科とも関連付けて学習することができた。 JAからの協働事業で、りんごの花が咲いている時からスタートしたいので、学校への連絡をもう少し早めをお願いできないか。また、講師の農家の方が高齢なので次年度も継続してやってもらえるか不安が残る。
16	矢野目小学校	5月22日	田植え体験・米作りについて	1	1	田植え体験により、米づくりへの興味が高まり、米づくりを行う農家の人々の思いや苦労について考えることができた。 田植え体験を受け入れてもらえる方を探して、来年度の計画を立てる必要がある。または、バケツ稲での対応も考えられる。
17	矢野目小学校	6月26日 9月12日	矢野目地区の史跡巡り(東部・西部)	3	4	地域にある史跡、神社の歴史を説明していただくことができ、興味をもって調べ学習につなげることができた。 集会所を休憩、トイレ使用として開けていただけて助かった。
18	矢野目小学校	1月29日	昔遊び(1年生・生活科)	6	6	おはじき・けん玉・こま・あやとり等、昔遊びを教えてもらい、楽しく遊ぶことができた。
19	5校	6月~11月、3月の15日前後	朝のあいさつ運動(年7回)		140	児童の安全確保と、あいさつ運動をしていただいた。児童・生徒のあいさつに対する意識の向上が見られた。 地域の一般の方への参加呼びかけは難しい。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	瀬上小学校	月1回程度	交通安全母の会の方、学習センターの方、地域の方、北信中学校の生徒のみなさん、瀬上小児童会の子どもたちと朝30分程度あいさつ運動を行った。		48	校内であいさつする児童が増えた。また、中学生をお手本にして頑張ろうとする高学年の姿が見られた。 教員の勤務時間前なので、勤務時間の調整・変更が必要。
2	瀬上小学校	7月29日	北信地区地域学校協働本部事業の一環で、地域一斉クリーン活動を行った。小学生、中学生、保護者の方々、母の会や防犯協会、PTAの方々など、たくさんの方に参加していただいた。		90	活動を通して「きれいな街にしたい」という気持ちをはぐくむことができた。 集合時間を早めたことで、早めに解散できた。暑い日の活動だったので、熱中症対策の観点からもよかった。 早朝でも暑いので、時期の検討が必要。
3	余目小学校	6月23日	地域交流活動(1~6年 学級数7) ・ニュースポーツ体験	22	22	余目長寿会の方々にご指導いただき、学年ごとにニュースポーツを体験させていただいた。学年ごとに種目を固定していただき、昨年度とは違う内容での活動に意欲も高まった。

4	余目小学校	10～11月	ミシンボランティア(5・6年 学級数2) ・家庭科ミシン学習の個別指導	5	16	とても細やかにご指導くださり、担任一人では難しい学習を、大変スムーズに進めることができた。他にも教育活動の充実につながるような団体などがあれば活用を検討したい。
5	矢野目小学校	4月～3月	サポートルームの支援(集団生活につまずきをもつ児童への支援)	4	80	サポートルームで過ごすことを目的に登校できる児童が増加した。
6	矢野目小学校	7月2日	茶道体験(4～6年生・クラブ活動)	3	3	茶道体験を体験することができ、楽しく活動することができた。
7	矢野目小学校	10月～11月	家庭科(5年生2学級・6年生3学級 ミシンでの裁縫学習)	3～4	43	制作する物や作業の状況に合わせて一緒に行ってもらい、全員が仕上がる事ができた。
8	矢野目小学校	11月19日	リース作り(4～6年生・クラブ活動)	1	1	自分でリースを作ることができ、楽しく活動することができた。
9	5校	7月29日	地域一斉クリーン活動		200	小学生、中学生、小中教員、地域の方々が一緒に、各小学校区のごみ拾い活動を行った。地域の美化と、地域・学校の交流ができた。 夏季休業中でとても暑く、実施時期や方法など検討が必要である。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

項目	評価の観点、評定:(+)4～1(-)	評定
Q1 学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2 事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3 学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4 地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	4
Q5 地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6 統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○学校からの要請に応じてボランティアを募り、学校と連携をとりながら支援を進めてきた。矢野目小学校での茶道体験教室やリースづくりについては、クラブ活動の一環として年間計画にも位置づけられていたので、講師の先生の手配や事前の打合せなど余裕をもって行うことができた。また、ボランティア(マロニエの会)のサポートルーム(保健室登校等児童の居場所作り)への支援により、毎週楽しみに登校する児童が増えた。

○余目小学校と矢野目小学校へのミシン学習補助は、10月・11月に集中し、5・6年生対象ということで、ボランティア(マロニエの会)の方々に負担をかけてしまったが、できる範囲で可能な限り対応してくださった。鎌田小学校1年生の昔遊びでは、地域代表委員の呼びかけに8人のボランティアの方が集まり、盛大に実施することができた。

○地域代表委員(5名)の方に、北信地区5校の体験活動をそれぞれ1回程度視察していただき、各校の校長先生方も出席する年2回の本部会議において、北信地域学校協働事業に対して貴重なご意見をいただいた。

○学習センターで主催する文化まつりでは、各小中学生の作品展示だけでなく、音楽祭・芸能祭に北信中学生の合唱部、吹奏楽部、演劇部に参加してもらったり、家庭部に模擬店の手伝いをしてもらったりした。学校と地域の交流や、中学生の地域貢献へと結びつけることができた。

●学校側とボランティアの間で短時間でも事前の打合せができるようにしたい。また、終わってからボランティアの方々へ、子どもたちからお礼を言ってもらえる時間を確保したい。今年度同様、北信地区のボランティアリストを年度初めに各学校へ配付するようにしたい。

5 活動、支援の様子



(鎌田小学校) 朝のあいさつ運動 (瀬上小学校)



(余目小学校) クリーン活動 (矢野目小学校)



地域交流活動(余目小)



茶道体験教室(矢野目小)



味噌づくり視察(瀬上小)



むかしあそび(鎌田小)

令和7年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.9	吉井田学習センター
対象校	吉井田小学校 福大附属特別支援学校

1 学校でコーディネート(対応)し、実施した学校支援活動・地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	吉井田小学校	9月4日	総合的な学習の時間・荒川の水質調査及び生物調査(5年生3学級・水質調査及び生物調査の補助)	3	3	児童は、ボランティアの補助を受けて、意欲的に調査活動に取り組むことができた。
2	吉井田小学校	12月10日	総合的な学習の時間・土湯こけしを知ろう(4年生3学級・土湯こけしの説明と絵付け体験補助)	2	2	児童は、絵付け体験を通して、土湯こけしに対する理解を深めることができた。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより、実施した学校支援活動・地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	吉井田小学校	6/3.4.6	家庭科授業・針と糸を使った裁縫の基礎学習の補助(5年生3学級・玉結びや玉どめ)	9	13	児童は、裁縫の基礎である玉結びや玉どめなどの補助を受けることにより、技能を身に付けることができた。
2	吉井田小学校	7/1.3.4.8.10.11	家庭科授業・ミシン操作の補助(6年生3学級・トートバックの制作)	9	17	児童は、ミシン操作の補助を受けることにより、上手にトートバックを仕上げることができた。
3	吉井田・清明小学校 岳陽中学校	10月28日	中学2年生が出身小学校で朝のあいさつ運動	3	3	児童は、中学生や地域の方に対して、元気なあいさつをすることができた。
4	吉井田小学校	11/18.19.20 21.26.28	家庭科授業・ミシン操作の補助(5年生3学級・エプロンの制作)	11	27	児童は、ミシンを扱う初めての学習であったが、操作の補助を受けることにより、上手にエプロンを仕上げることができた。
5	吉井田小学校	11月18日	総合的な学習の時間・和太鼓の実演と体験指導(4年生3学級・和太鼓の演奏体験指導)	4	4	児童は、方木田稲荷太鼓への理解を深めるとともに、楽器演奏の楽しさを味わうことができた。
6	附属特別支援学校	11月20日	学習センター見学(小学部2年生・図書室利用・図書の貸出)	0	0	身近にある施設を利用し、施設で働く人たちと触れ合う体験ができた。
7	吉井田小学校	11月21日	学習センター見学(2年生3学級・図書室を含む館内見学及び学習センターの説明・少年教室の活動の紹介・図書の貸出)	0	0	児童は、館内見学や図書の貸し出し等を通して、学習センターの理解を深めることができた。
8	吉井田・清明小学校 岳陽中学校	12月10日	中学1年生が出身小学校で朝のあいさつ運動	3	3	児童は、中学生や地域の方に対して、元気なあいさつをすることができた。
9	附属特別支援学校	12月17日	ボランティア清掃活動(高等部の学生による職業訓練を兼ねた活動)	0	0	学校で訓練していた作業を公共の場所で実際に実施する職業体験ができた。
10	吉井田小学校	1月15日	生活科授業・つるし雛の制作(2年生3学級・つるし雛の説明と制作指導)	3	3	児童は、簡単なつるし雛作り体験を通して、楽しくつるし雛への理解を深めることができた。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1 学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2 事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	4
Q3 学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4 地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	4
Q5 地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6 統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

- 学校からの要望に柔軟に対応し、学校やボランティアの方との連絡調整を密にしながら地域人材のマッチングを図ることができた。
- 児童から学習センターを通してボランティアの方へ感謝の手紙が寄せられ、ボランティアの方々にとっては参加協力をしていることへの大きな励みとなっている。
- ボランティア登録者が増えたことにより、特に、家庭科のミシンを使った授業で多くの参加協力を得ることができ、担任一人では指導が難しい場面でも、児童一人一人に対する細やかな支援ができるようになった。
- 学校側で支援協力の必要性があっても、事業予定を組むために連絡調整が必要となり、気軽に計画しづらい場面もある。
- ※ 必要に応じた対応が柔軟にできるように、学校やボランティアの方との連絡調整を密にしていく。

5 活動、支援の様子



6月 家庭科ボランティア(5年生)



7月 ミシンボランティア(6年生)



11月 ミシンボランティア(5年生)



11月 総合的な学習の時間「和太鼓」(4年生)



11月 学習センター見学(2年生)



1月 つるし雛(2年生)

令和7年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.10	西学習センター
対象校	荒井小学校、佐倉小学校、佐原小学校、西信中学校

1 学校でコーディネート(対応)し、実施した学校支援活動・地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	荒井小学校	5月30日	森林環境学習(4学年・1学級・水林自然林・荒川資料館にて、森の果たす役割についての講話)	2	2	森の植物の保全と植生について理解するとともに、荒川源流を観察し、学習に見直しを持つことができた。
2	荒井小学校	6月4日	森林環境学習(4学年・1学級・摺上川ダムでダムの働きについての講話)	3	3	木と水には深いかかわりがあることを理解することができた。ダムの働きや設備の学習を通して治水との関わりを考えることができた。
3	荒井小学校	9月10日	森林環境学習(4学年・1学級・土湯こけしの歴史についての説明)	2	2	土湯こけしは、地域の森林と深く関わってきたことを学ぶことができた。
4	荒井小学校	12月15日	こんにやくづくり体験JA(6学年・1学級・こんにやく作り体験のサポート)	5	5	こんにやく芋からできることを知り、日本の食文化の奥深さに触れることができた。
5	荒井小学校	12月16日	米粉クレープづくり体験JA(5学年・1学級・米粉を使ったクレープづくり体験のサポート)	4	4	米作りに年間を通じて取り組んできた児童にとって、お米の可能性に気づかせていただく機会となった。
6	佐倉小学校	5月13日	米作り(5学年・1学級 育苗ハウスの見学)	1	1	稲の苗がどのように育てられているのかを知ることができた。
7	佐倉小学校	5月20日	米作り(5学年・1学級 田植えの指導)	3	3	初めて素足で田んぼに入って田植えを行った。手作業で田植えを体験し、その苦労を知ることができた。
8	佐倉小学校	6月23日	歴史学習(6学年・1学級 地域の歴史、現地説明会)	2	2	地域の名所旧跡を、地域の方の説明をもとに見学することで、歴史への関心が高まった。
9	佐倉小学校	10月2日	米作り(5学年・1学級 稲刈り、脱穀の指導)	2	2	手作業で稲を刈る体験ができた。稲刈りから脱穀まで機械で行う様子を見学することができた。
10	佐倉小学校	11月25日	米作り(5学年・1学級 収穫祭)	1	1	14年ぶりに米作りを行った。収穫した米をおにぎりにし、指導の先生方と一緒にその喜びを味わった。
11	佐倉小学校	12月16日	書写指導(3～6年 書きぞめ教室)	5	5	運筆や文字のバランス、名前の書き方等について指導をいただき、書きぞめへの意欲が高まった。
12	佐倉小学校	年30回	読み聞かせ(全学年・1学級 図書読み聞かせ(ローテーション))	4	16	図書への関心が高まり、進んで読書をするようになった。落ち着いて、相手の話を聞けるようになった。
13	佐倉小学校	12月11日	生活科(1・2年 昔遊び交流会)	4	4	お手玉やあやとりなどを教えてもらった。地域の方とコミュニケーションをとり楽しく活動できた。
14	佐原小学校	年7回	読み聞かせ(全校生・3学級 本の紹介と読み聞かせ)	3	17	様々な本に触れることができる良い機会となった。
15	佐原小学校	7月9日	社会科(3学年・1学級 「農家の仕事」についてのゲストティーチャー)	2	2	農家の方(保護者)から実際の話を聞いたり、質問したりすることにより、児童の興味関心が高まり、学びを深めることができた。
16	佐原小学校	9月17日	社会科(3学年・1学級 「農家の仕事」についてのゲストティーチャー)	1	1	総合的な学習の時間「佐原の米作り」でお世話になっている地域の方にインタビューすることで、総合での体験学習と関連付けながら学ぶことができた。
17	佐原小学校	11月18日	図画工作科(6学年・1学級 「焼き物」における卒業制作づくりの支援)	1	1	学校だけでは実施することが難しい「焼きもの」の学習を体験させることができた。
18	佐原小学校	年4回	米作り(3・4学年・1学級 田植え、かかし作り、稲刈りについての体験学習全般の支援)	2	8	米作りの体験や調べ学習を通して、地域の方と関わりながらふるさと佐原の産業について学ばせることができた。
19	佐原小学校	12月17日	収穫祭(全校生・3学級 餅つきや調理等のボランティア)	2	2	3、4年生が米作り体験をして作ったもち米を使って餅つきをして食することで、米作り体験からつなげて学びを深めることができた。また、地域の味を食することで、ふるさと佐原への愛着を育てる素地を作ることができた。
20	佐原小学校	1月23日	ふるさと学習(5、6学年・1学級 義民太郎衛門について学ぶフィールドワークの支援)	3	3	地域の方の協力をいただきながら、義民太郎衛門について学ぶフィールドワークを計画し、実施することができた。ふるさと佐原の歴史を学ぶ良い機会となった。
21	西信中学校	4月17日	米作り(3・4学年・1学級 田植え、かかし作り、稲刈りについての体験学習全般の支援)	5	5	あづまの里「荒井」づくり地域協議会の全面的なバックアップを受けることができ、活動の目的に沿って年間の活動計画を立てることができた。
22	西信中学校	5月12日	第一次産業についての講話(1学年・2学級・酒米を例とした稲の栽培についての講話)	1	6	学習に必要な講師の紹介を受けることができた。
23	西信中学校	5月27日	酒米の田植え体験活動(1学年・2学級・苗の準備と田植えについての指導)	7	13	生徒が講話で学んだことを体験することで、学習の意味を理解することができた。
24	西信中学校	7月16日	職業人に聞く会の実施(3学年・1学級・進路選択の時期や仕事のやりがいや思いについての講話)	2	15	講師を2人迎え、西地区における観光産業やスポーツ産業についての講話を聞くことにより、郷土に対する理解を深めることができた。進路選択の時期であり、将来の生き方について考えるきっかけとすることができた。
25	西信中学校	9月18日	酒米の稲刈り体験活動(1学年・2学級・鎌の準備と稲刈りについての指導)	7	22	生徒が講話で学んだことを体験することで、学習の意味を理解することができた。
26	西信中学校	9月22日	第二次産業についての講話(1学年・2学級・米を加工する日本酒造りについての講話)	2	24	実際に生徒が植えて刈って収穫した米を加工する酒造会社の方を講師に迎えられたことで、生徒の学習に対する意欲が高まった。
27	西信中学校	11月10日	第三次産業についての講話(1学年・2学級・原材料を加工して商品化・販売までについての講話)	2	26	生徒はものづくりと経済活動について、知ることができた。
28	西信中学校	11月27日	酒造工場(釜水晶)の見学(1学年・2学級・工場内の見学及び酒造工程の説明)	3	29	実際にものづくりが行われているところを見ることができ、それまでの学習と結びつけることができた。
29	西信中学校	2月18日	お酒の販売(1学年・2学級・地元スーパーによるお酒の販売指導)	3	32	販売体験を通して、商品説明や接客の工夫を考えながら活動することで、達成感を味わうことができた。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより、実施した学校支援活動・地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	荒井小学校	4月17日	総合 荒井の産業 お米調査隊(5学年・1学級・種まき、田おこしの補助)	1	1	お米作りの始めの作業として、1年間の活動の見直しを知り、児童が活動への意欲を高めることができた。

2	荒井小学校	5月27日	総合 荒井の産業 お米調査隊(5学年・1学級・田植えの補助)	5	5	田植えの仕方について指導いただき、できるだけ児童の手で活動を進めることにより、達成感を味わうことができた。
3	荒井小学校	7月17日	総合 荒井の産業 お米調査隊(5学年・1学級・田の草取りの大切さと草取りの仕方の指導)	1	1	田を歩いて草取りをする仕方について指導いただき、学級全員の手で活動を進めることができた。
4	荒井小学校	10月23日	総合 荒井の産業 お米調査隊(5学年・1学級・稲刈り作業の補助)	2	2	稲刈りのノウハウを教えていただき、収穫の喜びを味わうことができた。
5	荒井小学校	11月28日	総合 荒井の産業 お米調査隊(5学年・1学級・研究発表会にての講評)	3	3	これまでの活動の成果をまとめ、携わった方々にも活動の意義や努力を認めていただき、荒井地区に暮らす者として郷土愛や地域との連帯感を深めることができた。
6	荒井小学校	11月28日	絵本の読み聞かせ(1・2学年・2学級・絵本の読み聞かせ、本の選定と自由読書の補助)	2	2	児童目線から楽しめる「〇〇の王様」と題した絵本を集めて読み聞かせいただき、絵本の世界に入り込んで心躍らせる一時を過ごし、絵本の素晴らしさを味わえた。
7	佐倉小学校	10月29日	家庭科裁縫(5・6年生・1学級・ミシン補助)	2	2	ミシンを使ってのトートバック作りの際に補助いただき、スムーズに製作することができた。
8	佐倉小学校	11月5日	家庭科裁縫(5・6年生・1学級・ミシン補助)	1	1	ミシンを使ってのトートバック作りの際に補助いただき、スムーズに製作することができた。
9	佐原小学校	12月12日 12月19日	家庭科裁縫(5・6年・1学級「エプロン作り」「ふくろ作り」)におけるミシンボランティア)	3	5	ミシンの使い方や縫い方など、きめ細かに支援していただき、子どもたち全員が作品を仕上げることができた。
10	荒井小・佐倉小・佐原小・西信中	10月19日20日	西地区文化祭への作品出品	70	70	西地区幼小中の作品を展示した。
11	佐倉小・西信中	10月20日	西地区文化祭ピアノ発表	5	5	ハワイ移民の方から送られたピアノを使っての発表会を行い、多くの地域住民に聞いていただいた。
12	西信中	10月19日20日	西地区文化祭ボランティア	12	12	文化祭の受付、バザー、片づけ等を地域住民とともにいった。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1 学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2 事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	4
Q3 学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4 地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	3
Q5 地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6 統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○各学校の地域連携の状況に応じて、ボランティアを紹介したり、活動を補助したりするなどしてきた。学習センターがコーディネートするしないにかかわらず、地域連携の活動については学校へ外向き、状況を観察したり、手伝ったりした。学校、地域、学習センターが情報を共有して学校の教育活動の支援を行うことができた。

○学校の様子を地域の方々に知ってもらえるよう、学校で発行している学校通信やWEBページをプリントして館内に掲示した。

○学習センター主催の文化祭では、各小中学生の作品展示、ピアノ演奏会への参加を通して地域連携につなげた。また、中学生にはボランティアとして参加してもらい、受付やバザー、片づけなどを地域の方とともに進めてもらった。小中学生が地域住民と関わったり、小中学生の活動の様子を地域に発信したりできる場となった。

●学校と地域との連携活動をさらに進めて行けるようにしていく。そのため地域の関係団体の現状及び活動状況等確認し、連携体制を整えておく。

5 活動、支援の様子



地域の方々の協力により行われた各小中学校での米作り活動の様子(田おこし、田植え、稲刈り、研究発表会)



学習ボランティアによる学習支援(地域の歴史学習、ミシン補助、書初め指導、昔遊び)



文化祭での地域協働活動(受付、バザー販売、ピアノ発表、片づけ等)

令和7年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.11	信陵学習センター
対象校	大笹生小学校、笹谷小学校、信陵中学校

1 学校でコーディネート(対応)し、実施した学校支援活動・地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	大笹生小学校	4月11日	交通教室(全学年・6学級・委嘱状交付、交通安全に関する講話)	2	2	警察からの具体的な指導により、安全意識を高めることができた。
2		4月25日	りんご栽培体験の学習(3年・1学級・りんご栽培学習の活動支援) 他2日(10月・11月)	2	6	りんご栽培の体験を通して、地域の特色やよさを考えることができた。
3		4月30日	春の遠足(全学年・6学級・遠足の活動支援)	2	2	学習センターの協力のもと、十六沼のグラウンドで充実した活動を行うことができた。
4		5月12日	租税教室(6年・1学級・税金に関する学習支援・指導)	1	1	法人会の講師から、税金に関する指導をいただき、社会科の学びを深めることができた。
5		5月16日	防犯教室(全学年・6学級・防犯に関する講話)	2	2	警察からの具体的な指導により、防犯意識を高めることができた。
6		5月28日	人権教室(5、6年・2学級・人権擁護に関する講話)	2	2	人権擁護委員から人権に関する講話をいただき、いじめ防止に関する意識を高めることができた。
7		6月6日	食育の授業(4年・1学級・食育に関する学習支援) ※他、全学年で実施	2	6	栄養教諭と栄養技師による指導のもと、食に関する知識・技能を高めることができた。
8		6月17日	大笹生支援学校との交流学习(3年、5年・2学級・支援学校の児童との交流活動支援) ※11月にも実施	多数	多数	2回の交流活動を通して、友達とかわかることの大切さを学ぶことができた。
9		6月25日	生愛会との交流学习(4年・1学級・お年寄りとの交流活動支援) ※12月にも実施(6年生でも11月・12月に実施)	多数	多数	お年寄りとの交流活動を通して、人とのかわりの大切さを学ぶことができた。
10		6月27日	人権の花贈呈式、花植え(6年・1学級・人権擁護委員等による贈呈式、花植え等を活動支援)	10	10	花の苗の贈呈式や花植え活動等を通して、人権意識の向上を図ることができた。
11		7月9日	クマの防災教室(全学年・5学級・大学から専門講師による防災講話)	1	1	クマに対する安全対策を具体的に学び、防災意識や知識・技能を高めることができた。
12		7月17日	情報モラル教室(3～6学年・4学級・専門講師によるメディアとの関わり方についての講話)	2	2	具体的な事例等をもとに、メディアとの正しい関わり方を学ぶことができた。
13		9月5日	避難訓練(全学年・6学級・防火、消火、避難に関する指導)	5	5	飯坂消防署員に避難訓練に立ち合ってもらい、職員や児童に直接指導を受けることができた。
14		10月3日	道の駅見学(3年・1学級・店の仕事に関する学習支援)	2	2	ふくしま道の駅の店を見学し、販売について学習することで、社会科の学びを深めた。
15		10月15日	下校付添パトロール(全学年・6学級・下校指導支援) ※全3日間実施(10～11月)	10	20	地区健全育成推進会の事業として、下校付添や通学路の安全点検を実施した。

16		11月11日	栗本堰の見学学習(4年・1学級・栗本堰に関する学習支援)	7	7	栗本堰の見学や実験等を通して、社会科の学びを深めることができた。
17		11月14日	大笹生簡易郵便局見学(2年・1学級・生活科のまちたんけんの学習支援)	1	1	地域探検の一環として、簡易郵便局を見学し、地域の様子についての学びを深めた。
18		11月17日	大福寺見学(2年・1学級・生活科のまちたんけんの学習支援)	1	1	地域探検の一環として、地域のお寺を見学し、地域の様子についての学びを深めた。
19		11月19日	石材店見学(2年・2学級・生活科のまちたんけんの学習支援)	1	1	地域探検の一環として、地域の石材店を見学し、地域の様子についての学びを深めた。
20		11月20日	ペン工房見学(2年・3学級・生活科のまちたんけんの学習支援)	1	1	地域探検の一環として、地域のペン工房を見学し、地域の様子についての学びを深めた。
21		11月25日	ふれあい体験活動(全学年・6学級・地域の方とのふれあいを通じて体験活動を行うための学習支援)	9	9	地域の方々とのふれあいを通して、充実した体験活動を行うことができた。
22		12月3日	ジャムづくり体験(3年・1学級・りんごジャムづくり体験のための支援)	3	3	JA職員等を招き、収穫したりんごを使ってジャムづくりを体験し、学びを深めた。
23		1月14日	薬物乱用防止教室(6年・1学級・薬物乱用防止に関する指導支援)	1	1	学校薬剤師から薬物乱用防止に関する指導をいただき、学びを深めることができた。
24		1月21日	認知症サポーター養成講座(6年・1学級・認知症サポーター養成のための指導)	5	5	地域包括支援センターの方々から、認知症に関する指導をいただき、学びを深めた。
25	笹谷小学校	4月21日～2月27日	3年(2学級)りんご栽培についての指導 ※果樹農家 計6回	1	12	りんごの栽培過程についての学習を通して、笹谷地区の特色や果樹農家の思いなどを理解することができた。
26		11月1日	3年(2学級)消防活動の説明、放水訓練の見学 ※地域消防団	6	12	地区の安全を守っている消防団の方々から話を聞いたり、訓練の見学をしたりすることで、防火の仕事の大切さや苦勞について理解することができた。
27		10月15日	4年(3学級)栗本堰についての学習 ※福島市土地改良区職員	2	6	栗本堰やそこからつながる用水路についての学習を通して、笹谷地区の特色や水の大切さについて理解を深めることができた。
28		11月26日	3年(2学級)りんごジャム作りの指導 ※JA職員、女性部	7	14	笹谷地区の特産であるりんごを使ってジャム作りをすることで、豊かな自然環境や食、地域理解につなげることができた。
29		9月19日	2年(2学級)交番の仕事についての学習 ※笹谷交番	2	4	交番の役割や警察の方が自分たちの生活を支えていることに気づくことができた。
30		4月11日	【事故防止教室】 福島北警察署員の方に来校していただき、自転車交通安全や交通ルール遵守の大切さについて講話をいただいた。	1	1	講話だけでなく、映像や具体例の提示などがあると、より自分事として捉えることができたのではないかと感じた。
31		5月15日	【避難訓練(火災)】 飯坂消防署員の方に来校していただき、火災想定での避難訓練を実施した。消火器の扱い方についても確認することができた。	5	5	生徒の訓練だけでなく、教職員が火災警報器の使用方法を確認し、有事発生の際に教員が的確に避難誘導できるように訓練することができた。
32		5月22日	【防犯教室】 県北少年サポートセンターの方に来校していただき、不審者対応やSNSの正しい使用例について講話をいただいた。	1	1	中学生が巻き込まれやすい具体例の提示などもあり、身近なトラブルに対して、予防しようとする意識を高めることができた。

33	信陵中学校	6月30日 ～7月4日	【職場体験】 福島市内の事業所(約60事業所)で、2年生が職場体験活動を実施した。特に小学校での活動において朝のあいさつ運動を協力して実施した。	約100	約100	学校を離れて実際の事業所で活動することによって、働くことの大切さや地域の方々とつながりについて学ぶことができた。
34		9月12日	【職業人に聞く会】 福島市内の事業所(8事業所)の方々に来校していただき、1年生を対象に、それぞれの職業の実際について講話をいただいた。	15	15	様々な職業の方々に来校していただき、その仕事の大変さややりがいについて講話をいただいた。次年度の探究学習につながる良い機会となった。
35		9月18日	【薬物乱用防止教室】 学校薬剤士の先生に来校していただき、3年生を対象に薬物の種類や使用した際の依存症や健康被害について講話をいただいた。	1	1	近年、薬物だけでなくかぜ薬のオーバードーズも社会的ニュースになる中で、使用した際の危険について講話をいただくことで、規範意識を高めることができた。
36		10月2日	【性に関する講演会】 講師の方に来校していただき、未成年による妊娠や性病、身体の変化などについて、3年生を対象に講話をいただいた。	2	2	普段の学校教育では保健体育で取り扱う内容であるが、専門家に講話をいただくことで、軽率な行動が今後の人生のリスクとなることを実感することができた。
37		10月24日	【健康教育講演会】 本校スクールカウンセラーから、1年生を対象に心の健康について講話をいただいた。	1	1	人が生きていく中で、心が疲れていく場面は多々あるため、自分のストレス発散方法を知り、レジリエンスを高めることが重要であると知ることができた。
38		1月28日	【自己肯定感の高め方に関する講演会】 ほりこし心身クリニックの方に来校していただき、自己肯定感やレジリエンスの高め方、ストレスマネジメントについて講演いただいた。	1	1	学校生活では、勉強、部活動、人間関係などさまざまな場面でストレスがかかる。その中で悩みを生徒自身が解決できる自己マネジメント力を高める機会となった。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより、実施した学校支援活動・地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	大笹生小学校	4月30日	春の遠足(全学年・6学級・遠足の活動支援)	2	2	学習センターの協力のもと、十六沼のグラウンドで充実した活動を行うことができた。
2		10月4日 ～10月5日	地区文化祭での作品展示			各学年の作品を展示し、地域の方に見ていただいた。
3	笹谷小学校	9月29日	2年(2学級)生活科での学習センター見学	2	4	事前に連絡を取り、日程調整を進め、円滑に進めることができた。
4		10月5日	合奏部(26名)地区文化祭への参加			文化祭での発表は、日頃の練習の成果を発表できる場であり、子どもたちにとって、貴重な経験となった。
5	信陵中学校	11月12日	信陵学習センターの切り絵クラブに来校していただき、サポートルームの生徒と切り絵活動を行っていただいた。	2	2	サポートルームの生徒を対象に、切り絵を仕上げるアドバイスを丁寧にいただいた。優しい声掛けもあり、温かい雰囲気でのコミュニケーションがとれていた。
6		10月4日	信陵地区文化祭のコンサートに、吹奏楽部と合唱部が参加した。	27	27	日頃の練習の成果を発揮する貴重な経験となった。また、信陵地区の住民の方に向けて成長した姿を披露することにより、地域とのつながりをもつことができた。
7		2月16日	信陵学習センターの切り絵クラブに来校していただき、サポートルームの生徒と切り絵活動を行っていただく予定である。	2	2	11月に引き続き、サポートルームの生徒を対象に切り絵活動を行なっていただく。経験者や初心者に合わせて、題材を変えるなど工夫していただいている。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1 学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2 事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3 学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4 地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	3
Q5 地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6 統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○期首面談では各学校の実態や本事業に対する要望等を聞くことができ、連携協働の計画を立てることができた。また、期末面談では今年度の成果と課題を明確にし、次年度の連携協働の見通しをもつことができた。

○小学校生活科の学習センター見学では、事前の打ち合わせを行い、学習効果を高めることができた。また、中学校のサポートルームへは「切り絵教室」を行い、地域の講師と生徒との交流が深まり、生徒も満足感や達成感を味わっていた。

○地区文化祭では、小・中学校の合唱・合奏のステージ発表や作品展示があり、多くの来場者を喜ばせた。元気な子どもの姿を発信するよい機会になった。

●今後、地区文化祭において、さらに小・中学生の作品展示を充実させていきたい。

5 活動、支援の様子



サポートルームでの切り絵教室
(信陵中学校)



地区文化祭での作品展示
(大笹生小学校)



地区文化祭でのステージ発表
(笹谷小学校・信陵中学校)

令和7年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.12	飯坂学習センター
対象校	飯坂小学校、平野小学校、湯野小学校、大鳥中学校、平野中学校、西根中学校

1 学校でコーディネートし、実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	飯坂小学校	4月18日	1～6年・13学級 避難訓練・防火教室	15	15	飯坂消防団の協力のもと、防火教室を充実させることができた。
2	飯坂小学校	5月9日	5～6年・3学級 飯坂町鼓笛パレード	8	8	保護者交通整理ボランティアの協力をいただき、鼓笛演奏の発表とパレードを行った。
3	飯坂小学校	6月10、16日 7月14日	3年・3学級 蚕飼育・絹糸づくり	2	4	工房おりをりの協力で、蚕の飼育、及び繭から絹糸をとる活動に取り組み、飯坂の産業の歴史について関心を深めることができた。
4	飯坂小学校	9月12日	3年・3学級 スーパーマーケット見学	2	2	保護者引率ボランティアの協力で、スーパーマーケットまでの安全を確保することができた。見学の際の補助も円滑にできた。
5	飯坂小学校	9月30日	3年・3学級 八幡神社見学	2	2	保護者引率ボランティアの協力で八幡神社と学校までの安全を確保することができた。飯坂の歴史や祭りについて関心を高めることができた。
6	飯坂小学校	6月12、17日 12月17日	2年・3学級 町たんけん	6	6	学級の実態に応じた本を選んでいただき、読み聞かせを実施した。
7	飯坂小学校	10月3日	1～6年・13学級 飯坂けんか祭り体験	21	21	地元の町内会の協力をいただき、山車を見たりひいたりする体験を通してけんか祭りへの関心を高めた。
8	飯坂小学校	11月29日	3年・3学級 飯坂消防署見学	2	2	保護者引率ボランティアと共に、消防署見学を行った。
9	飯坂小学校	5月9日、6月6、27日 9月26日、10月17、31日 11月14日、12月5日、 1月9日、3月6日	1～6年・13学級 読み聞かせ	8	41	学校の実態に応じた本を選んでいただき、読み聞かせを実施した。
10	湯野小学校	5月15日	教員のための地域研修(教員6名)	1	1	教員が地域学習をすることで、地域への愛着だけでなく地域を学ぶことができた。児童の体験活動を有効にするために効果的な取り組みであった。
11	湯野小学校	5月23日	全校生 全校なかよしオリエンテーリング	1	1	縦割り班で異学年との交流をしながら、地区の名所や史跡について学び、地域への理解を深めることができた。ボランティアの見守りもあり、安心して活動することができた。
12	湯野小学校	12月17日	強度の伝統・文化と先人たち	1	1	地域の歴史や文化について理解を深める機会となった。地域をより深く学ぶことができ、これまでよりも地域を大切に思う機会になった。
13	平野小学校	4月24日	3年・3学級 飯坂消防署・飯坂学習センター見学	0	0	地域に活力をもたらすと共に、子供たちの活躍の場となった。
14	平野小学校	5月23日	3年・3学級 リンゴの摘果体験	4	4	毎年総合的な学習で実施。地域産業に目を向けるきっかけとなっている。
15	平野小学校	6月14日	6年・2学級 飯坂町フィールドワーク	0	0	飯坂地区の良さを知る良い機会となった。
16	平野小学校	6月24日、12月2日、 2月10日	1年・3学級 読み聞かせ	5	5	図書ボランティアによるお話し会。
17	平野小学校	7月1日、12月9日、 2月17日	2年・3学級 読み聞かせ	5	5	図書ボランティアによるお話し会。
18	平野小学校	7月15日、12月16日、 3月3日	3年・3学級 読み聞かせ	5	5	図書ボランティアによるお話し会。
19	平野小学校	10月3日	4年・3学級 医王寺見学	1	1	地域の寺を見学し、地域の良さを知ることができた。
20	平野小学校	10月8日	4年・3学級 トヨタ未来スクール事業	8	16	近隣のトヨタ関係者関係者によるプログラミング学習。普段の授業では体験できない学習を行うことができた。
21	平野小学校	10月10日	5年・3学級 いじめ防止出前授業	10	10	いじめを許さない態度を育成する良い機会となった。
22	平野小学校	10月16日	4年・3学級 八幡神社・旧堀切邸見学	4	4	地域の歴史と良さを学ぶことができた。
23	平野小学校	10月21日	4年・3学級 井野目堰見学	6	6	地域の歴史を学ぶ良い機会となった。

24	平野小学校	10月24日	3年・3学級 リンゴ畑の見学	5	5	地域産業に目を向けるきっかけとなっている。
25	平野小学校	11月14日、17日、19日	3年・3学級 りんごジャムづくり	6	18	J A 婦人部が講師となり実施。地元の食材を活用した学習。
26	平野小学校	1月15日	4年・3学級 認知症サポーター養成講座	22	22	社会福祉協議会による講座。毎年総合的な学習で実施。
27	平野小学校	12月20日	特設音楽部 はなひらのクリスマスコンサート	10	10	地域に活力をもたらすと共に、子供たちの活躍の場となった。
28	平野小学校	1月18日	特設音楽部 こむこむコンサート	10	10	地域に活力をもたらすと共に、子供たちの活躍の場となった。
29	平野小学校	3月8日	特設音楽部 ありがとうコンサート	10	10	地域に活力をもたらすと共に、子供たちの活躍の場となった。
30	西根中学校	4月22日 4月24日 9月3日 11月25日	○生産体験活動 ・学年:1学年 ・学級数:1学級 ・支援内容等: JAふくしま未来飯坂営農センター指導員との連絡調整及びJAふくしま未来飯坂営農センターの指定した果樹生産農家(協力農家)への依頼・連絡調整	7	19	【成果】JA職員や地域の果樹生産農家が講師として参加することで、専門的な知識や技術を生徒に伝えることができ、地域の人材を教育活動に生かすことができた。 【課題】気候変動により、実施日が年間計画から大きくずれ、JAや協力農家の皆様にご迷惑をおかけした。今後も継続的に活動をするには、地域の協力が欠かせない。
31	西根中学校	12月18日	○ニコ・ニコおむすび大作戦 in 西根中(家庭科で実施) ・学年:2学年 ・学級数:1学級 ・支援内容等:JAふくしま未来女性部福島地区フレッシュミズ部会湯野支部による「おむすびとわたし」の読み聞かせ、「おむすびから考える日本の食と農」についての講話、調理実習(おむすび、みそ玉)	7	7	【成果】JA職員や、米や野菜の生産に関わるフレッシュミズ部会の皆様が講師として参加することで、生活に生かせる実践的な知識を生徒に伝えることができた。 【課題】地域からの協力の申し出を大切にしつつ、授業時数や指導事項が決まっている中でどこからどのように時間を生み出すかについては検討が必要である。
32	西根中学校	2月20日 2月21日 2月22日	○東湯野地区展覧会 ・学年:1~3年 ・支援内容等:地域の依頼で実施。つるし雛の展示に合わせ、東湯野地区に住む生徒の作品を貸し出し、展示。	多数	多数	【成果】日頃の学習の成果を地域の方にご覧いただく貴重な機会となった。 【課題】特になし。
33	西根中学校	3月7日	○梅の剪定作業 ・学年・学級数:保護者(生徒の参加なし) ・支援内容等:PTAと同窓会を中心に、地域の協力も得ながら、校地内にある梅の木の剪定作業を行う。	多数	多数	【成果】同窓会や地域の方に数多く参加していただいている。剪定だけでなく、卒業式を前に校地内の美化にも役立っている。 【課題】参加者を増やすため、校内の協力体制の充実が必要である。
34	大鳥中学校	6月24日 9月29日 11月6日	1学年・2学級(特別支援学級を含む)・総合的な学習の時間の講話	1	3	「地域を知り、地域に学ぶ!~人と人とのつながりてふるさと飯坂Revitalization Plan~」をテーマに飯坂町について学習し、活性化のための提案を行った。
35	大鳥中学校	9月2日	1学年・2学級(特別支援学級を含む)・地区敬老会補助	10	10	飯坂町の地域敬老会に参加し、運営のお手伝いと発表の参観を行った。お年寄りとふれあい、話を聞くことで、福祉について考えることができた。
36	大鳥中学校	9月9日	1学年・2学級(特別支援学級を含む)・飯坂町実地調査	6	6	飯坂町の活性化のための提言作成のため、班ごとに実地調査を行った。旧堀切邸や飯坂温泉駅などの協力をいただいた。
37	大鳥中学校	12月12日	1学年・2学級(特別支援学級を含む)・おんせん灯り夜市の補助	10	10	1学年の総合的な学習の時間から生まれた企画「おんせん灯り夜市」が開催され、準備・運営を飯坂観光協会青年部と行った。次年度の総合的な学習の時間につなげたい。
38	平野中学校	5月26日、10月22日	1学年・2学級・果樹栽培体験活動	11	12	【成果】剪定や敵花などを直接体験することで、実際に農業を営む方の姿に触れ、働くことの意義や苦勞、喜びを肌で感じ、職業観の形成につながった。 【課題】果樹の収穫期などと、学校行事予定とを合わせることが難しい。
39	平野中学校	4月~3月	2、3学年・1学級 サポートルームへ投稿する生徒への学習支援	2	65	【成果】担任が授業や公務に当たる中、サポートルームの支援を地域人材が担当することで、教職員の負担軽減につながった。 【課題】継続的な人材の確保。
40	平野中学校	4月~3月	全学年・全学級 朝の登校指導(あいさつ)	1	12	【成果】登校時に温かく元気な声をかけられることで、落ち着いた気持ちで授業に臨むことができる。

41	平野中学校	7月2日	3学年・3学級 認知症サポーター養成講座	10	10	【成果】驚かせない・急がせない・自尊心を傷つけないといった具体的な接し方をロールプレイで学ぶことで、実践的なスキルを身に付けることができた。 【課題】講座を受けた直後は意欲が高まるものの、日常生活で実践する機会がないと、知識が薄れてしまいがちである。
42	平野中学校	12月5日	1,2学年・文化部 平野地区展覧会における準備補助			【成果】「助かったよ」「中学生は頼もしいね」といった直接的な賞賛を受けることで「自分も地域に貢献できている」という自信の芽生えにつながった。 【課題】単なる労働で終わってしまわないよう、振り返りの時間を設けることも必要。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	飯坂小学校	8月28日	3,4年・6学級 流れ踊り練習	9	9	婦人会の方々の協力をいただき、流れ踊りや真尋ちゃん音頭の振付を身につけることができた。
2	飯坂小学校	9月3日	3,4年・6学級 校歌・流れ踊り発表	10	10	婦人会の方々のコーディネートにより、パルセ飯坂で開催された敬老会で、踊りを披露することができた。
3	飯坂小学校	9月19日	3年・3学級 つるし雛づくり	7	7	地域の伝統である「つるし雛かざり」に向けて展示するつるし雛づくりを行った。
4	飯坂小学校	10月22日,24日,30日,31日 11月7日,11日,12日,13日, 14日,17日,18日,21日, 25日	5,6年・6学級 ミシン補助	5	35	ミシン操作の支援を受け、熱心に制作活動に取り組むことができた。
5	飯坂小学校	2月13日	3年・3学級 つるし雛飾り オープニングイベント			婦人会の方々のコーディネートにより実施。
6	湯野小学校	10月10日,15日,23日	5年・1学級 ミシンの扱い方の補助	1	1	きめ細やかで丁寧なミシン操作の指導により、どの児童も安心してミシンの操作を行うことができた。
7	湯野小学校	10月30日	5年・1学級 川の水質や生き物に関する指導	1	1	実際に川やダムを見ながら詳しい説明をいただいた。これまでの学習と現地での学習が結びつき、より深い学びとなった。
8	湯野小学校	1月27日	5年・1学級 ふるさとについて考えよう (湯野地区ごみ拾い)	2	2	自分たちの地域が、住みよい街になるよう思いを込めて、ごみ拾いを実施した。集めたごみの量を目の当たりにして、達成感を味わうとともに、地域をより大切にしたいという思いが高まった。
9	湯野小学校	2月22日	全学年・希望者 湯野子どもの集い (青少健・学習センター共催)	20	20	地域を思う気持ちを喚起する標語や川柳の募集により、改めて地域への思いを持つことができた。また、ニュースポーツ体験を通して、親世代、祖父母世代との交流を持つことができた。
10	西根中学校	9月1日 9月2日 9月3日 9月4日 9月5日	○職場体験活動 ・学年:2学年 ・学級数:1学級 ・支援内容等:飯坂学習センター担当者と打ち合わせ、生徒の希望を基に、企業に職場体験の受け入れを依頼	多数	多数	【成果】調整により、生徒が有意義な活動を行うことができた。また、調整していたことで、教員の負担軽減になった。 【課題】特になし。次年度以降も、学区内や近隣地域の事業所の協力を得るために、ぜひコーディネートをお願いしたい。
11	西根中学校	4月22日,6月3日, 24日,7月15日 8月26日,9月30日 10月18日,11月25日 12月16日,1月27日, 2月24日,3月10日	○読み聞かせ ・学年:1・2学年 ・学級数:2学級 ・支援内容等:飯坂学習センター(担当:生涯学習指導員 佐藤奈緒美さん)との打ち合わせ、読み聞かせボランティアへの連絡(依頼)と打ち合わせ	2	24	【成果】生徒が読書の楽しさを知り、読書習慣を育むことにつながった。 【課題】ボランティアの方から、読み聞かせの場所や方法、アンケートの作成や集計などについてリクエストがあったが、校内の体制や状況から意に沿うことができなかった。学校の状況や思いを伝え、改善を図りながら進めたい。
12	西根中学校	1月19日 1月26日 2月2日 2月16日	○家庭科 ミシンの授業補助 ・学年:1・2年 ・学級数:2学級	3	12	【成果】ミシン使用時の支援や安全確認などができた。多くの目で生徒を見守りながら授業をスムーズに進めることができ、教科担任の負担軽減につながった。 【課題】特になし。免許外教諭が指導する場合、今後もぜひ依頼したい。
13	西根中学校	2月22日	○湯野・東湯野子どものつどい (地区青少健・飯坂学習センター共催)	多数	多数	【成果】準備、司会進行、発表等を通じ、地域に元気な姿を発信することができた。 【課題】職場体験についての発表の場があるが、校内のまとめの時期から大きく外れており、修学旅行直前の時期であることから、準備が大変である。

14	西根中学校	3月7日 3月8日	○第49回湯野地区展覧会 (湯野地区展覧会実行委員会・飯坂学習センター共催)	多数	多数	【成果】日頃の学習の成果を地域の方にご覧いただく貴重な機会となった。 【課題】実施時期が遅くなると、3年生の作品の出品が難しい。
15	大島中学校	6月23日～27日	2学年・2学級・職場体験活動	17 事業所 巡回ボランティア 7名	85 事業所 巡回ボランティア 11名	学区内もしくは近隣地域の事業所が多く協力していただいた。生徒たちは体験したからこそ感じた仕事の楽しさや大変さを味わうことができた。
16	大島中学校	7月4日	1学年・2学級・職業人に学ぶ会	2	2	飯坂地区の活性化に尽力している方々から話を聞き、飯坂町の活性化について、興味をもって話を聞くことができた。実地調査や提言作成につながった。
17	大島中学校	7月8日	3学年・2学級・福祉活動	4	4	福祉体験を通して、福祉に対する興味・関心を高めることができ、地域の実情を知り、身近にいるお年寄りに対し、接し方を工夫しようとする生徒が増えた。
18	大島中学校	6月2日～10月18日	特設剣舞部・八幡神社例大祭の剣舞奉納及び文化祭での剣舞演奏(全13回の活動)	1	13	八幡神社秋季例大祭や鵬凰祭で多くの方の前で発表できたことは生徒たちの大きな自信につながった。1、2年生での発表だったが、堂々とした発表ができた。
19	大島中学校	8月29日～10月18日	特設太鼓部・八幡神社例大祭の太鼓奉納の補助・文化祭での飯坂太鼓演奏(全7回の活動)	3	21	保存会の方との練習をとおし、自主的に活動する生徒が増えた。八幡神社秋季例大祭や鵬凰祭で多くの方の前で迫力のある発表でき、自己肯定感につながった。
20	大島中学校	12月15日	1学年・2学級(特別支援学級を含む)家庭科の授業の補助(調理実習 豚の生姜焼き)	2	2	調理する際の支援や安全確認などができた。調理実習では注意しなければならない動きが多く、各班ごとに進捗状況が異なるため、学習支援いただき、効果的であった。
21	平野中学校	6月30日～7月4日	2学年・3学級・職場体験訪問先の調整			【成果】教職員が授業の合間に訪問事業所を開拓する負担が減り、業務負担の軽減が図られた。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

項目	評価の観点、評定:(+)4～1(-)	評定
Q1 学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2 事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	4
Q3 学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	3
Q4 地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	4
Q5 地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6 統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

- それぞれの学校で地域人材を生かした独自の協働活動が継続されている。活動内容も工夫され、充実している。
- 昨年度より、ボランティア依頼が増えている。また、依頼事項も多岐にわたってきているので、本事業がより浸透したと感じている。
- ボランティア依頼が増えることにより、新たな人材発掘ができ、登録ボランティアの人数が増えた。
- 継続的にボランティアに入ることにより、支援内容も明確になり、支援後の成就感も増している。
- 事前に、事業担当者ボランティアとの打ち合わせが必要である。ねらいが明確になると、より充実した活動が展開される。
- 学校が忙しいことは承知しているが、急な依頼だとボランティアの方の都合がつかないこともあるので、早めに依頼をいただきたい。

5 活動、支援の様子



家庭科調理実習補助
(大島中学校)



世代間交流事業
(西根中学校・湯野小学校)



家庭科ミシン補助
(飯坂小学校)



学校だより掲示
(大島中学校・飯坂小学校)

令和7年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.13	松川学習センター
対象校	松陵義務教育学校

1 学校でコーディネート(対応)し、実施した学校支援活動・地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	松陵義務教育学校	通年	8・9学年による地域創成をテーマとした総合的な学習の時間「まつかわ学(探究活動)」における福島大学生による伴走ボランティア。	7	60	探究活動を進めるにあたり、生徒の抱える困り感や悩みに寄り添った助言をいただき、課題解決の一助となった。
2	松陵義務教育学校	5月12日	3学年3学級(総合)「クマガイソウまつり」見学。	3	3	水原地区で大切に保存・管理しているクマガイソウについて、保存会の方に説明していただき、自然環境を守る大切さを実感した。
3	松陵義務教育学校	7月17日 12月18日	7～9学年による、地域との関りと地域貢献を通して郷土愛を育む、地域交流活動。	28	28	生徒が地域と関りをもつことで、地域に対する感謝の気持ちや地域へ貢献することの大切さを学ぶことができた。
4	松陵義務教育学校	11月6日	4学年3学級(総合)土合館公園協働整備事業実行委員会事業の一環として小鳥の森職員の方から野鳥の生態について話を聞いたり巣箱を作って土合館に設置したりした。	15	15	自分たちにとって身近な場所である土合館公園の生き物について知り巣箱を設置したことで松川の自然環境を守っていこうとする意欲が高まった。
5	松陵義務教育学校	11月13日	6学年3学級(総合)土合館公園での森林環境学習。	10	10	森林の働きや森林組合の活動、土合館公園の自然環境について学習し、公園の環境を守る活動に取り組むことができた。
6	松陵義務教育学校	12月12日	6学年3学級(総合)認知症サポーター養成講座の受講。	5	5	年をとるとどんな変化が起こるのか、認知症とはどんな病気なのか、また、周囲の対応のあり方を学習し、お年寄りへの接し方を考えることができた。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより、実施した学校支援活動・地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	松陵義務教育学校	通年	8・9学年による地域創成をテーマとした総合的な学習の時間「まつかわ学(探究活動)」における地域の方々による伴走ボランティア。10/28 11/7・11・18・25 12/2・12 (2/12)	17	67	地域の探究活動を進めるにあたり、生徒の抱える困り感や悩みに寄り添った助言をいただき、課題解決の一助となった。
2	松陵義務教育学校	6月20日	3学年3学級(総合)「まつかわと花案内人」の方から「あじさい祭りについて話を聞いた。	3	3	地域の方々のあじさいに対する思いを知り、郷土への理解が深まった。

3	松陵義務教育学校	7月17日 12月18日	7～9学年による、地域との関りと地域貢献を通して郷土愛を育む、地域交流活動。	40	80	生徒が地域と関りをもつことで、地域に対する感謝の気持ちや地域へ貢献することの大切さを学ぶことができた。
4	松陵義務教育学校	7月25日	4学年社会「自然災害に備えるまちづくり」で、松川支所経済建設課係長からの松川地区での防災の取り組みについての話や資料をもとに、担任が児童用の資料を作成した。	1	1	松川地区や福島市の防災についての取り組みを知り、「公助」「共助」についての理解が深まった。
5	松陵義務教育学校	9月1日	4学年3学級(総合)県環境アドバイザー福島大学塘忠顕教授にご指導いただきながら、学校前の水原川に入って水質調査をしたり水生生物を探したりした。	1	1	水生生物の正式名や生き物と水質との関係など、専門的な詳しい説明をしていただくことで活動への意欲を高めることができた。
6	松陵義務教育学校	9月29日	2学年3学級(生活)「町たんけん」の学習で、松川学習センターを見学。施設案内と説明および図書室での説明と活動。	3	3	施設の見学や講話を通して公共施設の機能や働く人の役割について理解を深めることができた。
7	松陵義務教育学校	10月1日 10月8日 10月10日	5学年3学級(家庭)ミシンの使い方とランチョンマット作りの補助。	7	15	丁寧な支援により、ミシン操作や作品作りをスムーズに進めることができた。児童が満足する作品が仕上がった。
8	松陵義務教育学校	10月15日	5年2組(総合)日頃から地域のごみ拾いをボランティアで行っている方から、環境を守る取り組みなどの話を聞いた。	1	1	積極的・継続的に地域環境美化活動をしている方がいることを知り自分たちもできることに積極的に取り組んでいこうとする意欲が高まった。
9	松陵義務教育学校	10月14日 10月15日 10月20日 10月21日 10月22日 10月23日 10月24日	6学年3学級(家庭)ミシンを使ったトートバッグ製作の補助。	13	39	ミシンの扱い方や調整、トートバッグの作り方の個別指導をサポートしていただき、丈夫に仕上げることができた。
10	松陵義務教育学校	10月14日 10月16日 10月29日	6学年3学級(図工)版画制作での彫刻刀の使い方見守りと摺りのサポート。	4	6	彫刻刀の使い方を個別にサポートしていただき、安全に制作活動に取り組むことができた。摺りのサポートも大変有効だった。
11	松陵義務教育学校	10月25日 10月26日	第66回松川地区文化祭展示作品出品・絵画・工作・書道作品	0	0	1～9全学年から絵画・工作・書道作品、美術クラブから絵画作品を出品。展示コーナーは来館者でにぎわい、文化祭を盛り上げた。
12	松陵義務教育学校	10月28日	3学年3学級(総合)「松川提灯祭り」の由来を知る方や運営に関わっている方から祭りの歴史や取り組みについて話を聞いた。	4	4	祭りの由来や運営についての話を聞き、積極的に提灯祭りに関わろうとする意欲が高まった。
13	松陵義務教育学校	11月25日	6学年3学級(総合)「松川町の歴史や伝統文化にふれる」松川町の戦国時代から江戸時代までの町人文化について話を聞いた。豊富な資料が提示された。	3	3	松川町は街道沿いに位置し重要な役割を担っていたことや人々が協力して生活を営んでいたことがわかり自分たちの生活を考える機会となった。

14	松陵義務教育学校	11月26日	6学年3学級(総合)「松川町の歴史や伝統文化にふれる」神社や祭りの始まり、神輿や山車の由来、松川町の祭りの歴史について話を聞いた。豊富な資料が提示された。	1	1	それぞれに人々の思いが込められていることがわかり、伝統をつないでいこうという気持ちをもつことができた。
15	松陵義務教育学校	11月28日	3学年3学級(総合)松川に伝わる民話について「まつかわ民話の会」の方々から地域に伝わる民話やその由来を聞くとともに、児童が「語り」にも挑戦した。	6	6	地域に伝わる民話に興味をもち、さらには民話の「語り」に挑戦しようとする意欲を高めることができた。
16	松陵義務教育学校	12月8日 12月9日 12月16日	8学年3学級(家庭)「家庭生活と地域との関わり」の授業において、県社会福祉協議会・地域包括センターによる高齢者疑似体験活動。	13	16	講話と疑似体験を通して、高齢者についての理解を深めた。多くの体験グッズが用意され、全員が疑似体験と介助体験をすることができた。
17	松陵義務教育学校	12月19日	1学年3学級(生活)「むかしからつたわるあそびをたのしもう」まつかわ民話の会はじめ地域ボランティアの方々とは昔遊びで交流した。	20	20	昔遊びの楽しさを味わい、地域ゲストとの触れ合いをもつことができた。
18	松陵義務教育学校	2月27日	2学年3学級(生活)1年間の成長をふりかえる」授業参観での親子活動で万華鏡制作の予定だったがインフルエンザのための参観は中止となり後日児童を対象に実施。	12	12	地域の方と関わる学習のまとめとして、触れ合いながら制作活動を行うことにより、自分の成長に気づいたりまとめたりすることができた。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1 学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2 事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	4
Q3 学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4 地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	4
Q5 地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6 統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○授業支援においては、学校からの要望に応じてニーズに合ったゲストやボランティアをコーディネートすることができた。

○今年度は地区内の小中学校が統合し義務教育学校1校となった。1年生から9年生まで、昨年度まであった要望のほかにも新規のものも多くあり、広くゲストを求めた。依頼には快く応えてくださる方が多い。

○年度始めに学校の各学年に年間の見通しについて知らせてもらい、連絡があったものはボランティアへ知らせ、了承をいただいた。あらかじめ知らせておくことでボランティアの方も対応しやすい。諸事情により依頼が緊急のものもあったが、地域の方の協力をいただき要望に応えることができた。

○8・9年の総合については探究活動のアドバイザーとして多数のボランティアに協力いただいた。取り組みの方策を探りながらの長期にわたる活動だが、担当教諭との打ち合わせを密にし、学校の意向に沿ってコーディネートを進めた。

○当館図書室主催事業「松川の昔話」に松陵義務教育学校5年生2名が語り部として参加し、地域の観客の前で民話を披露した。昨年度松川小で実施した4年生総合「民話語り」の体験を通して松川の民話に興味をもち「自分たちも民話の語り部をやりたい」とまつかわ民話の会」に申し出があったことから実現した。今年度実施した3年総合「民話語り」の授業でも民話語りに興味をもった児童は多く、民話の会でも児童の意欲を形にできればと考えている。学校や図書室とも連携を取り、企画できればと考えている。

○本事業の周知のために学習センター運営審議会で毎回報告を行い、委員の皆さんにも地区への周知協力をお願いした。また、地区だより3月号に今年度の本事業の実践例を載せ、広く周知を図った。

●学校の状況から、ボランティア依頼が緊急・突発的になることも少なくない。今後、依頼に応えかねる場合も出てくると思われる。

※地域の方に声をかけたところ、多様な要望に柔軟に対応できる有志グループを作るとのお話があり、具体化しているところである。

5 活動、支援の様子



1年<生活>
昔遊び



2年<生活>
学習センター見学



3年<総合>
あじさい祭り



3年<総合>
松川提灯祭り



3年<総合>
民話語り



4年<総合>
水原川フィールドワーク



5年<総合>
地域環境学習



5・6年<家庭>
ミシン学習



6年<総合>
歴史学習



6年<図画工作>
版画学習



8年<家庭>
高齢者体験



8・9年<総合>
まつかわ学

令和7年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.14	信夫学習センター
対象校	鳥川小学校 大森小学校 平田小学校 平石小学校 信夫中学校

1 学校でコーディネート(対応)し、実施した学校支援活動・地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	鳥川小学校	4・28～11・21	3学年(2学級) リンゴ栽培学習(受粉・芽かき・収穫)	2	6	リンゴ栽培に関して農家の方の様々な手順があることを理解することができた。
2	鳥川小学校	10.31	2学年(2学級) 鳥川地区まち探検	16	16	子どもたちの計画に沿って、安全に留意した活動を行うことができた。
3	鳥川小学校	12.2	3学年(2学級) リンゴ栽培学習(リンゴジャムづくり体験)	6	6	収穫したリンゴでジャムをつくり、食の大切さに気付くことができた。
4	鳥川小学校	2.16	3学年(2学級) 成友屋敷見学	2	2	地区の様子や名所を知り、自分たちの住む地域を大切にしようとする気持ちを持つことができた。
5	鳥川小学校	2.2	3学年(2学級) 観音寺見学	1	1	地区の様子や名所を知り、自分たちの住む地域を大切にしようとする気持ちを持つことができた。
6	大森小学校	8.28	3学年(3学級) 消防団出前授業	15	15	地域消防団の取り組みについて理解し、町を火事から守る仕組みや人について知ることができた。
7	大森小学校	10月～3月	学習指導補助	1	15	学習支援の実施により、学習理解の一助となった。特別な支援が必要な児童へも支援を適切に行うことができた。
8	大森小学校	10月～12月	1学年(4学級) 読み聞かせ 2学年(3学級) 読み聞かせ	5	33	読み聞かせを行うことで、読書に関する意欲を高めることができた。
9	大森小学校	11.3	2年(3学級) 町探検引率	40	40	町探検の引率ボランティアとして各グループについていただき、子どもの思いに沿った活動を支援できた。
10	大森小学校	11.25	4年(3学級) こけし絵付け体験補助	2	2	伝統工芸に興味を持つことができた。
11	大森小学校	年間	全学年 保健指導補助・学習指導補助	1	30	学習支援の実施により、学習理解の一助となった。特別な支援が必要な児童へも支援を適切に行うことができた。
12	平田小学校	5.27 6.26 9.30 10.30 11.18	全学年(4学級) 図書ボランティア読み聞かせ	6	20	児童が楽しんで取り組み、読書活動の推進と読書週間の形成に大いに成果があった。
13	平田小学校	5.29 11.6 11.14	5・6年(1学級) 稲作体験	3	7	学校田で、田植えから稲刈り、脱穀まで実施することができ、食への理解が深まった。
14	平田小学校	6.9	2・3学年(1学年) 町たんけん・農家見学	1	1	地域の農家で、農業の作業工程や工夫について見聞し、地域理解を深めた。
15	平田小学校	6.23	2・3学年(1学年) 町たんけん・神社見学	1	1	地域の神社を見学し、その歴史や宮司の仕事について見聞し、地域への理解を深めた。
16	平田小学校	7.8	4学年(1学級) 地域学習・SDGs	1	1	農家の方の、稲作や食に対する思いや願いを聞き、地域や食に対する理解を深めた。
17	平田小学校	9.5 9.17	2・3学年(1学年) 町たんけん	7	8	地域各所の見学学習で、見学先での説明や引率の補助をいただき、地域理解を深めた。
18	平田小学校	10.28	4学年(1学級) 地域学習・SDGs	1	1	地域の農家を見学し、稲作やSDGsに関する取り組みを聞いて、地域への理解を深めた。
19	平田小学校	12.3	3・4学年(1学級) 裁縫学習補助	1	1	手縫いおよびミシンでの裁縫学習に支援をいただき、効率よく学習を進めることができた。
20	平石小学校	6.5	3・4学年(1学級) 果樹園見学	5	10	リンゴ農家を見学し、栽培の苦労や出荷までの様子を学んだ。探求的な視点も養えた。
21	平石小学校	5.8	全学年(3学級) 田植え体験	25	25	田植えの経験を積み重ねた上級生は、下級生に教えながら田植えを行った。価値ある成長の機会となった。
22	平石小学校	5.13 10.21	全学年(3学級) 畑の世話・野菜栽培体験	25	50	サツマイモの苗植えをした。植え方や水やりについても教えていただいた。
23	平石小学校	9.30	全学年(3学級) 稲刈り体験	24	24	上級生は、慣れた手つきで稲刈りができた。非常に暑い日だったため、今後は熱中症に気を付けながら作業を行う必要がある。
24	平石小学校	10.31	全学年(3学級) 秋を楽しむ会	25	25	収穫した芋や米を使って、発酵段階に即して調理することができた。感謝の気持ちを醸成できた。
25	平石小学校	11.11	全学年(3学級) 高齢者との交流会	25	25	昨年度の反省を生かし、昔遊びなどの活動内容を工夫する姿が見られた。感染症の時期は気を付けたい。
26	平石小学校	11.20	3・4学年(1学級) ため池見学	5	5	クマの出没について心配があったため、教室でため池についての授業を実施した。

27	信夫中学校	10.3	福島地区ふくしま共創のまちづくり計画グループワーク	4	4	信夫地区の将来について地域の方々との意見交換し、目指す方向性を見出すことができた。
28	信夫中学校	4.26 7.29 9.27 11.29	城山ふれあい広場でのボランティア	5	17	地域の方々とのレクリエーションや食事を通じて、様々な年代と一緒に交流活動をした。
29	信夫中学校	12.21 1.31 2.28	城山ふれあい広場でのボランティア	2	4	地域の方々とのレクリエーションや食事を通じて、様々な年代と一緒に交流活動をした。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより、実施した学校支援活動・地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	鳥川小学校	10.6	6学年(2学級) 茶道・お琴・歴史教室	11	11	日本の伝統文化への興味を高め、総合的な学習の時間の探究活動に生かすことができた。
2	大森小学校	9月(13日間)	6学年(3学級) ミシン学習補助 5学年(4学級) ミシン学習補助	6	73	ミシンのボビン糸巻きや調整、縫い方補助をしていただき、大変助かった。
3	大森小学校	10.2	2年(3学級) 学習センター訪問	2	2	地域の公共施設を見学することで、普段見れない場所や設備・活動について学習できた。
4	大森小学校	10.26	1学年(4学級) 昔遊びを楽しもう	8	8	一緒に昔遊びをすることで子どもたちが昔遊びに興味を持つ手助けになった。
5	大森小学校	2.6	3学年(3学級) 昔の道具と生活	7	7	高齢者の話を聞き、昔の道具についての関心を高めることができた。
6	大森小学校	2.6	6学年(3学級) 卒業制作ミシン調整	4	4	ボビンの下糸巻きとミシン調整を行った。
7	大森小学校	2.9 2.12 2.16 2.17	6学年(3学級) 卒業制作ミシン操作補助	4	16	ミシンの下準備や卒業制作のミシン縫いなどの補助をしていただいた。
8	平田小学校	11.10	6年(1学級) 茶道・お琴教室	10	10	文化財や茶道・お琴に直接触れる体験となり、歴史や文化への興味関心を高めることができた。
9	平田小学校	11・27	2年(1学級) 町たんけん 学習センター訪問	1	1	地域の公共施設を見学することで、普段見れない場所や設備・活動について学習できた。
10	平石小学校	10.29	5・6年(1学級) 平石地区歴史フィールドワーク	1	1	クマの出没があり、フィールドワークを断念した。資料を活用した教室での授業は有意義であった。
11	平石小学校	11.10	6年(1学級) 茶道・お琴教室	10	10	矢吹邸にて貴重な体験ができた。お茶やお琴など、日本文化に直接触れる良い経験となった。
12	信夫中学校	11.22	信夫地区文化祭での美術作品展示	20	20	地域の行事に参加することで、地域の一員としての誇りを持つことができた。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1 学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2 事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3 学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4 地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	3
Q5 地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6 統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○小学校では地域の方々の協力を得て、学校独自の地域学校協働活動事業を数多く実施している。小規模校ではその傾向が強い。

○学校支援ボランティアの方々が、学校への支援に快く答えて協力していただける。高齢者の方々にとっては、学校の役に立てることが嬉しいと感じている方が多い。

●ボランティアの高齢化が進み、活動が継続できないケースが増えている。また、日程的に冬季の支援は高齢者には負担が大きい。

●学校とボランティアの認識がかみ合わないことがある。ボランティアは日程調整するために数か月前から計画したいと考えているが、学校は学年ごとの授業計画等を1~2か月前に計画することも多い。時に授業補助などは時間割に左右されるため調整が難しい。

●学校の授業時間内に協力できるボランティアとなると、高齢者に限定されてしまうことも多い。しかし、学校のトイレや階段等高齢者に優しい環境になっていない場合が多い。

※学校と学習センターの休日や勤務時間が違うため、なかなか連絡を取り合う時間が確保できないのが現状。また、学校と地域の高齢者の方々の打ち合わせを設定しようとしても、高齢者は午前中、学校は放課後となり時間が確保できない。この点からも学習センターが間に入ることが重要になってくる。地域との信頼関係を構築しておくことで、この事業が進めやすくなると感じている。

令和7年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.15	吾妻学習センター
対象校	野田中学校 吾妻中学校 野田小学校 庭坂小学校 庭塚小学校 水保小学校

1 学校でコーディネートし、実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	野田中	5月22日(木)	防犯教室「情報モラル」(全校生:338名)	1	1	福島警察署講師により、実例を映像で視聴し情報モラルについて学習した。さらにSNSの問題や危険性を保護者にも幅広く啓発する必要性を感じた。
2	野田中	6月26日(木) 7月17日(木) 9月25日(木) 10月23日(木) 11月27日(木) 12月18日(木) 1月29日(木) 2月26日(木)	地域のあいさつ活動(生徒会) 「生徒会役員が登校時に野田小学校に向き、小学生や地域の方にあいさつする運動」 ・生徒のあいさつに対する意識を高める。 ・あいさつ運動を学校から地域へ広める。	生徒会本部 小学生		自分たちのあいさつについて見直したり、あいさつ運動を地域に広めるきっかけとしたりすることができた。 回数を重ねるうちに、自分たちで様々な工夫をするようになり、「自分たちの活動」「もっとよくなりたい」などの意識が高まった。
3	野田中	9月5日(金)	学校保健委員会(生徒会)「心のSOSを発信」 「心のSOSを発信しやすい環境を作るために学校全体や学級、委員会活動、家族でできることは何かについてアンケートをもとに議論する活動」	3	3	学校、学級、委員会活動、家庭でできることについて、医師や薬剤師、保健師の意見を聞きながら考えることができた。
4	野田中	9月8日(月)～ 9月12日(金)	職場体験活動(2年:123名) 「中学校3年間を通して学ぶキャリア教育の中核となる活動として、37事業所で行う勤労体験活動」	37事業所の 職員の方々		5日間、充実した活動を行うことができた。福島市の豊かな自然、産業、人材と積極的にふれあうことで、郷土「ふくしま」への思いを醸成させるとともに、生徒一人一人の将来への「夢と志」を育むことができた。
5	野田中	10月14日(火) 10月21日(火) 10月27日(月) 11月10日(月)	幼稚園訪問(3年:106名) 「手作りおもちゃ等を持参し、直接幼児とふれあう体験活動」	10	10	幼児と直接ふれあうことで、言葉や動作の成長を見聞き、どのように接するべきかを深く考える機会となった。
6	野田中	10月22日(水)	社会人に学ぶ会(1年:109名) 「社会人の方々から働く意義や責任を学ぶ活動」	6	6	ラジオ福島、看護専門学校、地域の企業で働く方々による講話を通して、社会人としての責任や働くことの意義を学ぶことができた。
7	野田中	11月5日(水)	薬物乱用防止教室(2年:123名) 「薬物乱用の危険性について学ぶ活動」	1	1	薬物乱用が及ぼす影響や害について、自分事としてとらえることができた。
8	野田中	12月1日(月) 12月4日(木) 12月5日(金)	認知症サポーター養成講座(2年:123名) 「認知症の現状や原因を理解し、具体的な対応の仕方を学ぶ活動」	5	20	認知症は脳の病気であり、対応によって進行が進んだり遅れたりすることを知り、地域に住む認知症の方への対応方法を学ぶことができた。
9	野田中	1月30日(金) 2月10日(火) 2月17日(火) 2月20日(金)	年金セミナー(3年:106名) 「年金の仕組みについて学ぶ活動」	2	8	年金の仕組みについて説明を受け、社会人として積み立てをすることが老後の生活につながることを知り、今後の生き方について学ぶ機会となった。
10	野田中	年 間	有価物回収(生徒会) 「生徒会の呼びかけによる有価物回収活動」	生徒会本部		生徒会役員が回収を行った。年間を通して活動し、地域に還元できるようにしたい。
11	吾妻中	年 間	梨の栽培活動(1年)	3	3	学校敷地内にある梨の栽培活動を通して、地域産業にふれるとともに、ふるさとへの思いをもつことができた。
12	吾妻中	9月3日(水) ～9月5日(金)	職業体験活動(2年)	各事業所の方々		福島市の自然、産業、人材と積極的にふれあうことで、郷土「ふくしま」への思いをもつとともに、生徒一人一人の将来への「夢と志」を育むことができた。

13	吾妻中	11月	職業人に聞く(1年)	各事業所の方々		いくつかの事業所を訪問し、実際に働く方々から、仕事への思いや工夫・努力を聞くことで、勤労の意義や大切さを学ぶことができた。
14	野田小	6月12日(木) 10月14日(火)	藤東ヨシ先生による昔話(3年:3学級)	1	2	野田の地域に伝わる昔話をお聞きすることで、地域に対する関心や愛着を高めることができた。
15	野田小	1・2学期	嶋原浩和さんによる萱場梨の説明と農園見学(4年:4学級)	1	4	野田地区で栽培されている萱場梨について、見学や体験を通して学ぶことができた。
16	野田小	9月10日(水)	町探検ボランティア(2年:3学級)	17	17	町探検を通して、地域の施設発見や人々と交流する機会をもつことができた。
17	野田小	1月15日(木)	赤間征治さんによる大原神社どんと祭のお話(3年:3学級)	1	1	野田地区の大原神社で毎年行われているどんと祭について話を聞き、地域理解を深めることができた。
18	野田小	12月・1月	セブンイレブンジャパンの方のお話(5・6年:各4学級)	2	2	社会科の情報学習及びキャリア教育の一環としてデータを生かした店舗展開や働くことへの思いをお聞きし、客に対しての接し方や働く意義について考えることができた。
19	野田小	1月21日(水)	昔遊び体験(1年:3学級)	23	23	生活科の学習として、ボランティアの方々と楽しくふれあいながら活動することができた。
20	野田小	2月5日(木)	テレビアナウンサー出前授業(5年:4学級)	4	4	社会科情報学習で、現役アナウンサーから情報を伝える役割や工夫・努力について学ぶことができた。
21	野田小	年間	道徳科の保護者参加型授業(2・5年)	複数	複数	家庭での保護者の思いを話していただくことで、思いを共有しながら自己を見つめ直すことができた。
22	庭坂小	4~6月	地区の公園になる梅の実を使った梅ジュース作り(第1学年・2学級・草木選定、整備、収穫手伝い)	2	3	梅ジュース作りを通して、人と関わりながら地域について学ぶことができた。
23	庭坂小	5月24日	学校行事「運動会」(全学年・13学級・会場準備・片付け・写真撮影・審判等) ※本校は、PTA組織が存在しない。協力が必要なとき、ボランティアを募り活動している。	20	20	安全かつスムーズに行事を進めることができた。
24	庭坂小	6月24日 ~7月10日	プールボランティア(第1~2学年・4学級・着替え補助、プールサイドでの見守り等)	26	58	監視体制の充実により、担任が指導に集中して取り組むことができるようになった。
25	庭坂小	6月	まちたんけん(第2学年・2学級・生活科における町探検ボランティア)	9	9	町探検をとおして、地域の施設や人々と交流する機会ができた。
26	庭坂小	4月~11月	梨づくり(第3学年・単学級・芳賀様による梨づくりの体験学習)	1	11	庭坂地域で栽培されている梨づくりについて見学や体験を通して学び生産者の思いにふれることができた。
27	庭坂小	7月15日	吾妻山登山(第4学年・2学級・登山支援、吾妻山の説明等)	6	7	いつも身近に見える吾妻山について実感をともなった学習をすることができた。
28	庭坂小	4月~11月	米づくり(第5学年・2学級・米づくりの体験学習)	8	33	田植えから精米まで、米作りの一連の流れを体験することで、米作りへの深い理解と愛着をもつことができた。
29	庭坂小	6月~11月	ふるさと学習 庭坂の歴史(第6学年・2学級・地区フィールドワーク、ゲストティーチャーとして地区の歴史についての説明)	1	3	庭坂地域の史跡や歴史について学ぶことで、ふるさとに関する知識を広げ、認識を深めることができた。
30	庭坂小	12月18日	薬物乱用防止教室(第6学年・2学級・違法薬物の危険性や身体・人生への影響について)	5	5	身近な薬でも扱い方を間違えれば、悪影響を及ぼすことも知り、身近な問題としての意識を高めるとともに、誘惑に負けない気持ちをもつことができた。
31	庭塚小	6月5日(木)	認知症サポーター養成講座(5年) ・認知症や高齢者の理解やかかわりについての話 ・高齢者体験	5	5	認知症や高齢者について、わかりやすく説明していただき、装具等で高齢者体験をすることで意識を高めることができた。

32	庭塚小	7月15日(火)	ふじの里訪問(5年) ・高齢者の方々の昔遊びなどでの交流 ・車椅子での介護体験	4	4	認知症サポーター養成講座での学習を生かし、実際に高齢者の方々と触れあうことで理解を深めることができた。
33	庭塚小	6~10月 (計8回)	梨の栽培体験(3年) ・梨の育て方や仕事内容などの説明 ・受粉や摘果、袋かけなどの体験	2	16	実際に農園での梨栽培の作業を体験することで、果樹農家の仕事や苦労などを理解し、地域のよさを実感できた。
34	庭塚小	10月15日(水)	高湯温泉見学(6年) ・あったか湯の見学 ・高湯温泉の歴史と特色などの説明 ・花月グランドホテルでの入浴体験	2	2	高湯温泉の歴史を聞いたり、施設を見学したり、入浴体験をしたりすることで、温泉の魅力を感じることができた。
35	庭塚小	11月27日(木)	ジャム作り体験(5年) ・ジャム作りの説明 ・リンゴを切ったり、煮詰めたりなどの調理 ・試食と感想発表	3	3	JAの方々に手順や作り方を教えてもらいながらジャム作りを体験することで、地元素材を使った調理への関心が高まった。
36	庭塚小	12月18日(木)	こけしの絵付け体験(4年) ・こけしの歴史や特徴 ・絵付け体験	1	1	土湯こけしの歴史や特徴を知るとともに、絵付け体験を通して、こけし作りの楽しさや難しさを知ることができた。
37	庭塚小	1月29日(木)	スキー教室(3~6年)	8	8	冬山の自然を楽しむとともに、指導員の指導によりスキーの技術を高め、楽しさを味わうことができた。
38	水保小	4~11月 (計7回)	りんご農家についての調べ学習(3年:1学級)	1	7	懇切丁寧に指導いただき、学習を深めることができた。
39	水保小	6月19日(木)	茶道体験(6年:1学級)	5	5	茶道について丁寧に説明をいただき、貴重な体験をすることができた。
40	水保小	9月30日(火)	土船簡易水道施設見学支援(4年:1学級)	3	3	見学の際に丁寧に説明をいただき、「郷土」理解に生かすことができた。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	野田中	8月2日(土) 8月3日(日)	吾妻学習センター「サマースクール」学習ボランティア 「小学生の学習支援をする活動」	2	3	小学生の学習支援という、学校ではできない貴重な体験をすることができた。
2	野田中	10月4日(土) 10月5日(日)	吾妻地区文化祭(生徒会) 「作品展示での参加」	6	6	1、2年生の書写作品を展示した。子供たちの作品を地域の方に見てもらえるよい機会となった。
3	野田小	11月12日(水) 11月14日(金)	吾妻学習センター見学(2年:4学級)	1	4	学習センターや図書室を見学し、公共施設について学ぶことができた。
4	野田小	11月	学習発表会での発表資料を学習センターに展示	1	1	総合的な学習の時間の学びの様子を地域の方々に見てもらうことで、学びの達成感や充実感が高まった。
5	野田小	1・2学期	サツマイモ栽培(2年:4学級)	1	4	「地域の方といっしょに育てたい」という思いでご協力をいただき、畝づくりから収穫まで指導をいただき、充実した活動を行うことができた。
6	庭塚小	11月18日 11月21日	ミシンボランティア (第6学年・2学級・ミシン指導補助)	2	4	ミシンの授業にありがちな様々なトラブルに即時対応してもらうことができ、活動が停滞しなかった。
7	庭塚小	9月26日(金)	ミシン使用前の点検・調整	2	2	ミシン学習を始めるに当たり、ミシンの点検と調整を行ってもらった。学習の準備を整えることができた。
8	庭塚小	10月 9日(木) 10月16日(木)	ミシン学習(5年) ・ミシンの使い方の支援 ・作品づくりの補助	3	6	初めてミシンを使う児童に使い方を丁寧に教えていただき、個別に対応していただき、自分で作品を仕上げることもできた。
9	庭塚小	10月 7日(火) 10月14日(火)	ミシン学習(6年) ・ミシンの使い方の支援 ・作品づくりの補助	3	6	個別に支援していただき、児童のミシンの操作技術が向上し、作品作りに意欲的に取り組み、自力で仕上げることもできた。

10	水保小	6月27日(金)	家庭科学習(裁縫)支援(5年:1学級)	3	2	一人一人の能力に応じて、玉留め等の裁縫の初期指導を親切丁寧に支援していただき、どの子どもも達成感を感じることができた。
11	水保小	7月3日(木) 7月4日(金) 7月14日(月) 7月16日(水)	体育科水泳学習支援 下学年21名 4回 上学年30名 4回	1	4	子どもたちの発達段階や泳力に応じて、丁寧に支援していただいた。教師も指導法を学ぶ場となった。
12	水保小	9月19日(金) 9月25日(木)	家庭科学習(ミシン)支援(5年:1学級) 家庭科学習(ミシン)支援(6年:1学級)	3	6	一人一人のミシン経験値に応じて、丁寧に支援していただき、どの子どももトートバッグやエプロンを完成させて成感を味わうことができた。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

No.	項目	評価の観点、評定:(+)4→1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	4
Q3	地域人材の活用	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4	地域と学校の連携協働	学校や地域団体のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	4
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

- 学校の要請に応じたボランティアの派遣を行うことができた。
- 新たなボランティア(小学校2年栽培活動補助、小学校水泳指導補助)も登録・派遣することができた。
- 学習センター本館・分館に「学校から地域へ発信コーナー(掲示パネル1~2枚)」の設置し活用を図った。来館者への学校アピールになった。
- 各校において、地域人材の活用をはじめ地域とかかわる活動が充実してきた。
- 学校への働きかけで、児童生徒の地域に関わる機会が増えるとともに、地域(町内会や体育協会などの活動)から子どもたちに働きかけることも多くなってきた。
- 今は良好な関係だが、今後互いに要求が大きくなっていくことも考えられる。学校、地域どちらにも負担過重にならないようコーディネートしていきたい。

5 活動、支援の様子



令和7年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.16	飯野学習センター
対象校	飯野小学校、飯野中学校

1 学校でコーディネート(対応)し、実施した学校支援活動・地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	飯野小学校	5月20日(火)	田んぼの学習(5年・1学級・田植え)	6	6	稲作についての理解を深めることができた。
2	飯野小学校	6月 5日(木)	地域学習(3年・1学級・飯野町伝統調べ)	1	1	地域の伝統行事についての理解を深めることができた。
3	飯野小学校	6月 6日(金)	地域学習(6年・1学級・白山、和台遺跡等見学)	2	2	地域の名所について関心を高め、郷土愛を深めることができた。
4	飯野小学校	6月12日(木)	地域学習(3年・1学級・飯野町伝統調べ)	1	1	地域の名所についての理解と郷土愛を深めることができた。
5	飯野小学校	6月19日(木)	栽培活動(6年・1学級・エレファントガーリック収穫)	5	5	エレファントガーリックと町おこしについて理解を深めることができた。
6	飯野中学校	6月25日(水)	1学年総合:地域おこしに関わる人に学ぶ会 講師:地域おこし協力隊、近野哲先生	1	1	生徒が今後どのように地域に関わっていくかを考える機会となった。
7	飯野小学校	6月27日(金)	地域学習(2年・1学級・町たんけん)	4	4	地域の施設、店等について理解を深めることができた。
8	飯野小学校	6月26日(木)	昔遊び(1年・1学級・わらべ歌遊び)	1	1	昔遊びについての理解を深めることができた。
9	飯野小学校	7月9日(水)	地域学習(2年・1学級・町たんけん)	5	5	地域の施設、店等について理解を深めることができた。
10	飯野中学校	7月9日(水)	1学年総合:地域おこしに関わる人に学ぶ会 講師:渡邊浩志先生(共楽座復活プロジェクト)	1	1	生徒が今後どのように地域に関わっていくかを考える機会となった。
11	飯野中学校	7月16日(水)	1学年総合:地域おこしに関わる人に学ぶ会 講師:阿曾隆一先生(飯野まちづくり研究会)	1	1	生徒が今後どのように地域に関わっていくかを考える機会となった。
12	飯野中学校	7月27日(日)	ホコ天における演奏披露(音楽部)	17	19	1~3年生の生徒で演奏披露を行い、会を盛り上げた。
13	飯野中学校	9月1日~5日	2学年職場体験活動	2	2	働くことの大変さややりがいを学ぶことができた。
14	飯野小学校	9月18日(木)	縄文土器作り(6年・1学級・民俗資料館見学)	2	2	資料館見学を通して地域の遺跡出土物についての理解を深めた。
15	飯野小学校	9月25日(木)	縄文土器作り(6年・1学級・土器作り)	2	2	土器作りの体験を通して縄文文化への理解を深めることができた。
16	小中合同	9月25日(木)	小中合同奉仕活動 小学5・6年生・中学1年生~3年生	160	160	小中の交流を図りながら地域の美化活動に取り組むことができた。地域の方々から感謝され生徒にとって意義のある活動であった。
17	飯野中学校	9月25日(木)	文芸部:茶道体験教室	2	2	文芸部全員で茶道の作法を学んだ。伝統文化を体験する良い機会となった。
18	飯野小学校	9月26日(金)	地域学習(3年・1学級・わらべ歌遊び)	1	1	地域の伝統についての理解を深めることができた。
19	飯野小学校	9月29日(月)	養蚕体験(4年・1学級・蚕様農家見学)	2	2	直接養蚕農家に話を聞くことで、養蚕業への理解が深まり、郷土愛を育むことができた。
20	飯野小学校	10月2日(水)	田んぼの学習(5年・1学級・稲刈り)	5	5	稲作についての理解を深めることができた。
21	飯野小学校	10月10日(金)	地域学習(3年・1学級・お祭り太鼓体験)	8	8	地域の伝統についての理解を深めることができた。
22	飯野小学校	10月11日(土)	地域学習(全学年・全学級・いいの地元学フィールドワーク)	27	27	地域の名所、文化、産業、歴史等に関する理解と郷土愛を深めることができた。
23	飯野小学校	10月30日(木)	栽培活動(5年・1学級・エレファントガーリック植え付け)	5	5	エレファントガーリックと町おこしについて理解を深めることができた。
24	飯野中学校	11月1日・3日	1日:文芸部による呈茶 3日:芸能祭の司会、音楽部の演奏披露	10	12	茶道ブースで地域の方々と触れ合うことができた。また、芸能祭では発表団体の紹介などを行った。
25	飯野中学校	11月9日(日)	UFOフェスティバルにおける有志ボランティア	4	4	こみステーションの案内をするなど運営に協力した。
26	飯野小学校	11月10日(月)	地域学習(5年・1学級・伝統食づくり)	1	1	まゆ団子づくりを通して地域の伝統について理解を深めることができた。
27	飯野小学校	11月13日(木)	田んぼの学習(5年・1学級・脱穀)	4	4	稲作についての理解を深めることができた。
28	飯野小学校	11月17日(月)	地域学習(2年・1学級・町たんけん)	5	5	地域の施設、店等について理解を深めることができた。
29	飯野小学校	11月17日(月)	養蚕体験(4年・1学級・蚕様資料館見学)	1	1	養蚕業への理解と郷土の歴史に関する理解を深めることができた。
30	飯野小学校	11月20日(木)	地域学習(3年・1学級・UFOフィールドワーク)	1	1	地域の名所について関心を高め、郷土愛を深めることができた。
31	飯野小学校	11月26日(水)	縄文土器作り(6年・1学級・縄文土器野焼き)	3	3	土器作りの体験を通して、縄文文化への理解を深めることができた。
32	飯野中学校	11月26日(水)	文芸部3年写真教室(撮影の仕方)	1	1	一眼レフカメラの撮影教室を行った。撮った作品は松桜祭・地区文化祭で展示した。
33	飯野小学校	12月3日(水)	民話学習(2年・1学級・民話ってなあに)	1	1	地域に伝わる民話についての理解と郷土愛を深めることができた。

34	飯野小学校	12月15日(月)	民話学習(2年・1学級・民話を聞こう)	1	1	地域に伝わる民話についての理解と郷土愛を深めることができた。
35	飯野小学校	12月18日(金)	地域学習(6年・1学級・飯野町の歴史)	1	1	地域の歴史と産業について理解を深めることができた。
36	飯野小学校	1月16日(金)	地域学習(3年・1学級・つるし雛づくり)	1	1	地域の伝統についての理解と郷土愛を深めることができた。
37	飯野小学校	1月21日(水)	民話学習(2年・1学級・民話を聞こう)	2	2	地域に伝わる民話についての理解と郷土愛を深めることができた。
38	飯野小学校	1月26日(月)	地域学習(3年・1学級・つるし雛づくり)	1	1	地域の伝統についての理解と郷土愛を深めることができた。
39	飯野小学校	2月 5日(木)	民話学習(2年・1学級・民話練習)	3	3	地域に伝わる民話についての理解と郷土愛を深めることができた。
40	飯野小学校	2月18日(水)	地域学習(3年・1学級・つるし雛づくり)	1	1	地域の伝統についての理解と郷土愛を深めることができた。
41	飯野小学校	2月19日(木)	民話学習(2年・1学級・民話練習)	3	3	地域に伝わる民話についての理解と郷土愛を深めることができた。
42	飯野小学校	3月 4日(水)	民話学習(2年・1学級・民話発表)	3	3	地域に伝わる民話についての理解と郷土愛を深めることができた。
43	飯野小学校	年間18回	読み聞かせ(1年・2年・2学級・本の読み聞かせ)	2	36	季節・行事に関連した本の読み聞かせにより、読書への関心を高めることができた。
44	飯野小学校	年間46回	学校支援(2年・6年・児童観察)	6	46	配慮を要する児童の観察・支援により他児童の落ち着いた学びを確保することができた。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより、実施した学校支援活動・地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	飯野中学校	6月7日(土)	文芸部:ちまきづくり 講師:佐々木照子	4	4	行事食を学ぶことで、伝統的な食文化への理解が深まった。
2	飯野中学校	7月12日(土)	文芸部:スポーツ吹き矢体験 講師:佐藤博(飯野スポーツクラブ指導員)	2	2	いいこどもクラブの行事に参加し、小学生とスポーツ吹き矢を体験した。
3	飯野中学校	7月23日~25日	文芸部:サマースクールに参加 講師:指導員、福大学生	2	6	部活動の一環としてサマースクールに参加し、宿題を進めることができた。
4	飯野中学校	10月4日(土)	文芸部:月見だんごづくり 講師:高野幸子	4	4	行事食を学ぶことで、伝統的な食文化への理解が深まった。
5	飯野中学校	1月17日(土)	文芸部:だんごさし 講師:高野久	4	4	伝統行事だんごさしに参加し、小正月に行われる伝統行事を理解した。
6	飯野小学校	11月10日(月)	水墨画教室(6年・2学級・水墨画の基本的な筆の運び)	2	2	基本的な筆の運びを理解し、全員が作品を仕上げる事ができた。
7	飯野小学校	11月20日(木)	将棋教室(4~6年・クラブ活動・基本的な駒の動かし方と攻守方法について)	3	3	駒の動かし方を理解し、対局を楽しむことができた。
8	飯野小学校	11月27日(木)	書き初め教室(4・6年・2学級・お手本に則り、基本的な筆の運びと字形の整え方について)	2	2	字形を整える要点を理解し、全員が作品を仕上げる事ができた。
9	飯野小学校	11月28日(金)	書き初め教室(3・5年・2学級・お手本に則り、基本的な筆の運びと字形の整え方について)	2	2	字形を整える要点を理解し、全員が作品を仕上げる事ができた。
10	飯野小学校	1月22日(木)	戦争体験を聞く(6年・1学級・戦時下の暮らしについて理解を深める)	1	1	戦時下の苦勞について理解を深めることができた。
11	飯野中学校	1月14日(水)	1学年総合:地域の職業人に聞く会 講師:林正直先生(有限会社アネスティ社長)	1	1	働く意義や価値観、求められる能力などについて話を聞くことで、自分の将来について考える契機となった。
12	飯野中学校	1月21日(水)	1学年総合:地域の職業人に聞く会 講師:長澤公恵先生(認定こども園園長)	1	1	働く意義や価値観、求められる能力などについて話を聞くことで、自分の将来について考える契機となった。
13	飯野中学校	2月18日(水)	1学年総合:地域の職業人に聞く会 講師:竹田祐章先生、加藤良平先生(株)サンワ	2	2	働く意義や価値観、求められる能力などについて話を聞くことで、自分の将来について考える契機となった。
14	飯野小学校	2月3日(火)	そろばん教室(3年・1学級・基本的な珠の動かし方)	1	1	珠の動かし方を理解し、簡単な足し算や引き算をすることができた。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1 学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2 事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	4
Q3 学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4 地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	3
Q5 地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6 統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○飯野地区は小中学校がひとつで連携が取れており、学習センターとの一体化が図られている。飯野小は地域の方々の協力により、学校支援ボランティアを毎週配置できた。飯野中は、文芸部や音楽部の活躍により地域とのつながりを深め、地域貢献できた。

●地域人材の高齢化により、活動内容の置き換え時期に来ている。今後は教育課程の見直しを進め、内容を変えたり、密度を高めたりするなどの工夫が必要である。

※地域人材を開発するだけでは足りない状況になってきているので、生涯学習指導員が積極的にSSRに対応するなど努力する。



福島市